

## I 展示活動

### 1 企画展

開館20周年・美術館設立60年記念  
所蔵作品選 175 / 3000  
時を重ねて3000点。飛躍に向けての175選。

- 会期 平成20年4月19日(土)～5月25日(日)
- 主催等 主催：茨城県近代美術館  
協賛：関彰商事株式会社
- ポスター B2
- チラシ A4(2種：一般用/学校配布用)
- 図録 「開館20周年記念 茨城県近代美術館所蔵作品選」  
286×225mm 208頁  
編集・発行 茨城県近代美術館
- 子供向けガイド わくわくガイド A4  
・いろいろな人  
・私を探してください
- 入場者数 10,234人
- 観覧料 一般580(470)円/高大生350(300)円  
小中生230(170)円  
※( )内は20名以上の団体料金
- 出品点数 175点  
(特別出品3点を加えると178点)

#### ●内容解説

昭和63年(1988)10月に開館した当館の開館20周年と、県立美術館としての設立60年を記念した展覧会。20周年を前に、空調設備の改修工事のため約半年間休館していた当館の、再始動を飾る展覧会でもあった。

当館の前身である茨城県立美術館は、昭和22年(1947)に大洗町の常陽明治記念館内に創設された。戦後まだ間もない頃、他の文化施設や他県に先駆けて本県に美術館が設置されたのも、茨城から日本画の横山大観や小川芋銭、洋画の中村彝、陶芸の板谷波山といった作家たちが輩出し、美術への高い関心が育まれていたことが大きく関与しているといえるだろう。

設立以来美術館では、これらの作家たちをコレクションの核としながらその充実に努め、約3000点の作品を有す

るまでになった。本展では、これら3000点にのぼる所蔵品から選りすぐりの175点を、4つの展示室すべてを用いて、11章からなる構成により一堂に展示するとともに、美術館のあゆみやコレクションの成り立ちについても改めて紹介した。

また、平成12年(2000)4月の茨城県陶芸美術館開館に伴い、当館から陶芸美術館へ移管された板谷波山、松井康成の作品も里帰りし、特別展示された。

開館以来、これだけの規模で所蔵の名品を展示するのは初めてのことであり、1日平均310人の入場者があった。

●担当 山口和子(主任学芸員)

#### ●関連事業

ギャラリートーク

担当 山口和子(主任学芸員)

日時 4月26日(土) 午後1時30分～2時30分

担当 中田智則(主任学芸員)

日時 5月17日(土) 午後1時30分～2時30分

夜のギャラリートーク

担当 当館学芸員

日時 期間中の毎週金曜日午後6時～6時20分

やあ！ミュージアムキッズ(鑑賞＋ワークショップ)

担当 当館職員

日時 4月26日(土)、5月10日(土)

各日とも午前10時～12時

実技講座

「光を感じて — 水彩画の魅力」

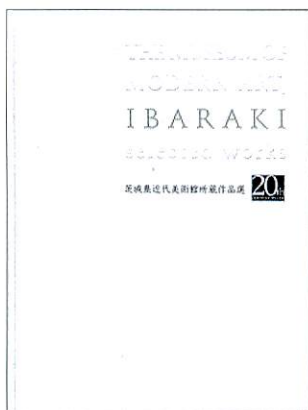
講師：柳田昭

日時 5月11日(日) 午前10時～午後4時30分

ハロー！ミュージアム — 所蔵品の楽しい見方—

日時 5月3日(土)、4日(日)、5日(月・祝)

各日とも午後1時30分～



図録



ポスターB2



チラシA4



わくわくガイド

●関連記事

- ・ えりすぐり 175 点一堂に, 20 周年記念し企画展  
4 月 11 日【茨城新聞】
- ・ 県近代美術館実技講座—水彩画の魅力  
4 月 11 日【読売新聞】
- ・ 逸品一話オノレ・ドーミエ「従順な有権者への誠実な報酬」(山口和子)  
4 月 17 日【朝日新聞】
- ・ 県近代美術館きょう再開  
4 月 19 日【毎日新聞】
- ・ 20 周年記念展は大観, 彝・芋銭・・・おまたせ近代美術館が再オープン  
4 月 21 日【朝日新聞】
- ・ 開館 20 周年・美術館設立 60 年記念・所蔵作品展 175/3000  
4 月 23 日【朝日新聞】
- ・ 県近代美術館 厳選所蔵品 175 点を展示  
4 月 25 日【常陽新聞】
- ・ 改装終え再び公開, 20 周年企画展開催  
4 月 26 日【日本経済新聞】
- ・ いばらき春秋「県立美術館に更生, 大洗の常陽明治記念館  
4 月 26 日【茨城新聞】

- ・ 所蔵作品を紹介 県近代美術館 5 月 5 日【常陽新聞】
- ・ 県近代美術館20周年作品展 60年の蓄積公開  
5 月 8 日【毎日新聞】
- ・ トークと実技指導 柳田昭さん 県近代美術館  
5 月 16 日【常陽新聞】
- ・ アカデミー24 日に開講 県近代美術館  
5 月 22 日【茨城新聞】

●関連放送

- ・ 開館20周年展「スクーパーレポート」  
4 月 23 日【IBS茨城放送】
- ・ 開館20周年・美術館設立60年記念所蔵作品展175/3000「夕刊ほっと」  
4 月 23 日【IBS茨城放送】
- ・ 開館20周年・美術館設立60年記念所蔵作品展175/3000「わいわいスタジオ」  
4 月 25 日, 5 月 1 日, 2 日【NHK 県域デジタル放送】

● 出品作品一覧

プロローグ 美術館のあゆみ

No.	作者名	生没年	作品題名	制作年	材質・形状	備考	展示替
1	五百城 文哉	1863-1906	袋田の滝	明治 25 年(1892)頃	油彩・麻布	小杉放菴氏より茨城県に寄贈	
2	太田 聴雨	1896-1958	西郷南洲と橋本景岳	昭和 18 年(1943)頃	紙本・彩色	霞ヶ浦海軍航空隊旧蔵	
3	鈴木 良三	1898-1996	銀扇	昭和 21 年(1946)頃	油彩・麻布	作者寄贈	

第 I 章 明治初期の日本画

4	橋本 雅邦	1835-1908	維摩居士	明治 18 年(1885)頃	紙本・彩色・軸装		前期
5	奥原 晴湖	1837-1913	芦雁図	明治 13 年(1880)	紙本・淡彩・軸装		前期
6	奥原 晴湖		富貴飛燕, 芙蓉翡翠	明治 28 年(1895)	絹本・彩色・軸装(対幅)		後期
7	猪瀬 東寧	1838-1908	秋景山水図	明治 35 年(1902)	絹本・墨画・軸装	猪瀬貢氏寄贈	
8	松本 楓湖	1840-1923	永代橋開橋式之図	明治 34 年(1901)	絹本・彩色・軸装	川上涇氏寄贈	
9	二世 五姓田 芳柳	1864-1943	斎藤実盛染髪図	明治 23 年(1890)頃	絹本・彩色・軸装		

第 II 章 横山大観と五浦の画家たち

10	横山 大観	1868-1958	朝顔日記	明治 33 年(1900)頃	絹本・彩色・軸装		
11	横山 大観		隠棲	明治 35 年(1902)	絹本・彩色・軸装		後期
12	横山 大観		春曙・秋夜	明治 38 年(1905)	絹本・彩色・卷子(対)		
13	横山 大観		流燈	明治 42 年(1909)	絹本・彩色・軸装		前期
14	横山 大観		水國之夜	明治 44 年(1911)頃	絹本・彩色・軸装		後期
15	横山 大観		朝霧	昭和 9 年(1934)	紙本・淡彩・墨画・屏風(六曲一雙)		
16	横山 大観		山に因む十題 霊峰四趣・其一春	昭和 15 年(1940)	紙本・彩色・軸装		前期
17	下村 観山	1873-1930	大原之露	明治 33 年(1900)	絹本・彩色・軸装		前期
18	下村 観山		竹林七賢図	明治 45 年(1912)頃	絹本・彩色・屏風(六曲一雙)		
19	菱田 春草	1874-1911	砧	明治 38 年(1905)頃	絹本・彩色・軸装		前期
20	菱田 春草		林和靖	明治 41 年(1908)	絹本・彩色・軸装		後期

No.	作者名	生没年	作品題名	制作年	材質・形状	備考	展示替
21	菱田 春草		落葉	明治42年(1909)	絹本・彩色・屏風 (二曲一双)	財団法人茨城県 開発公社寄贈	前期
22	木村 武山	1876-1942	熊野	明治35年(1902)	絹本・彩色・軸装		後期
23	木村 武山		阿房劫火	明治40年(1907)	絹本・彩色・軸装		
24	木村 武山		法然上人	大正6年(1917)	絹本・彩色・軸装		後期

### 第三章 明治の洋画

25	五姓田 義松	1855-1915	朝陽の富士	明治36~38年(1903-05)頃	油彩・麻布		
26	浅井 忠	1856-1907	農家室内	明治20年(1887)	水彩・紙		後期
27	浅井 忠		樹林	明治36年(1903)	水彩・紙		前期
28	黒田 清輝	1866-1924	庭の雪	明治38年(1905)	油彩・板		
29	久米 桂一郎	1866-1934	雪の庭	明治31年(1898)	油彩・板		
30	丸山 晩霞	1867-1942	アンパレー村	明治45年(1912)	水彩・紙		前期
31	藤島 武二	1867-1943	ポンペイの廃墟	明治41年(1908)頃	油彩・板		
32	三宅 克己	1874-1954	バッキンガム宮殿の前	大正期(1912-26)	水彩・紙		後期

### 第四章 中村彝とその周辺

33	中村 彝	1887-1924	自画像	明治42年(1909)頃	油彩・キャンバスボード	菊池五郎氏寄贈	
34	中村 彝		大島風景	大正4年(1915)	油彩・麻布		
35	中村 彝		静物	大正5年(1916)	油彩・麻布		
36	中村 彝		裸体	大正5年(1916)	油彩・麻布		
37	中村 彝		静物	大正8年(1919)	油彩・板		
38	中村 彝		目白の冬	大正8年(1919)	油彩・麻布		
39	中村 彝		男の顔	大正9年(1920)	油彩・麻布		
40	中村 彝		カルピスの包み紙のある静物	大正12年(1923)	油彩・麻布	升本喜三郎氏寄贈	
41	曾宮 一念	1893-1994	梨子畑みち	大正6年(1917)	油彩・麻布		
42	鈴木 良三	1898-1996	落合の小川	大正11年(1922)	油彩・麻布	作者寄贈	
43	戸張 孤雁	1882-1927	トルソー	大正14年(1925)	ブロンズ		
44	高村 光太郎	1883-1956	裸婦座像	大正6年(1917)	ブロンズ		
45	石井 鶴三	1887-1973	中原悌二郎氏像	大正5年(1916)	ブロンズ		
46	中原 悌二郎	1888-1921	老人の頭像	明治43年(1910)	ブロンズ		
47	中原 悌二郎		石井氏像	大正5年(1916)	ブロンズ		
48	中原 悌二郎		若きカフカス人	大正8年(1919)	ブロンズ		
49	保田 龍門	1891-1965	クリスティエヌの首	大正11年(1922)	ブロンズ		

### 第五章 西洋美術

50	ギュスターヴ・クールベ	1819-1877	フランシュ=コンテの谷, オルナン付近	1865年頃	油彩・麻布		
51	カミーユ・ピサロ	1830-1903	グラット=コックの丘から の眺め, ポントワーズ	1878年	油彩・麻布	(株)常陽銀行 寄贈	
52	エドヴァール・マネ	1832-1883	白菊の図	1881年	油彩・紙		
53	アルフレッド・シスレー	1839-1899	葦の川辺一夕日	1890年	油彩・麻布		
54	クロード・モネ	1840-1926	ポール=ドモワの洞窟	1886年	油彩・麻布		
55	オギュスト・ルノー	1841-1919	マドモワゼル・フランソワ	1917年	油彩・麻布		
56	オルトドーエ	1808-1879	従順な有権者への誠実な報酬	1834年	石版・紙	志村巖氏寄贈	
57	オルトドーエ		冬のバリ 2	1844年	石版・紙	志村巖氏寄贈	
58	オルトドーエ		店子と大家 12	1847年	石版・紙	志村巖氏寄贈	

No.	作者名	生没年	作品題名	制作年	材質・形状	備考	展示替
<b>第VI章 小川芋銭</b>							
59	小川 芋銭	1868-1938	黄初平	大正 12 年(1923)	絹本・彩色・軸装		
60	小川 芋銭		水魁戯	大正 12 年(1923)	紙本・淡彩・軸装		
61	小川 芋銭		夢中野干燈	大正 14 年(1925)	紙本・墨画・軸装		
62	小川 芋銭		狐隊行	昭和 5 年(1930)	紙本・淡彩・軸装		
63	小川 芋銭		海島秋来	昭和 7 年(1932)	紙本・淡彩・軸装		
64	小川 芋銭		祭魚	昭和 7 年(1932)頃	紙本・墨画・軸装		
65	小川 芋銭		春日遅々(魚鳥と童子)	昭和 9 年(1934)	紙本・淡彩・軸装		
66	小川 芋銭		江村六月、雲巒烟水	昭和 10 年(1935)	絹本・淡彩屏風(六曲一双)	篠目龍三氏寄贈	
67	小川 芋銭		河童百図<カップパ虫>	昭和 12 年(1937)	紙本・淡彩・軸装		
68	小川 芋銭		河童百図<因指見月>	昭和 12 年(1937)	紙本・墨画・軸装		
69	小川 芋銭		小六月	昭和 12 年(1937)	紙本・彩色・軸装		
<b>第VII章 大正から昭和戦前期の洋画</b>							
70	萬 鉄五郎	1885-1927	風景	明治 45 年(1912)頃	油彩・麻布		
71	斎藤 与里	1885-1959	夏の小川	昭和 18 年(1943)	油彩・麻布		
72	藤田 嗣治	1886-1968	横たわる裸婦	昭和 2 年(1927)	油彩・麻布		
73	小出 樽重	1887-1931	毛糸の束	大正 15 年(1926)	油彩・麻布		
74	小出 樽重		裸婦	昭和 5 年(1930)頃	水彩・紙		
75	安井 曾太郎	1888-1955	安倍能成氏像	昭和 19 年(1944)	油彩・麻布		
76	梅原 龍三郎	1888-1986	裸婦図	大正 11 年(1922)頃	油彩・麻布		
77	熊岡 美彦	1889-1944	ロシアの女	昭和 3 年(1928)	油彩・麻布		
78	国吉 康雄	1889-1953	二頭の牛	大正 11 年(1922)	油彩・麻布		
79	牧野 虎雄	1890-1946	向日葵	昭和 4 年(1929)頃	油彩・麻布		
80	岸田 劉生	1891-1929	窓外夏景	大正 10 年(1921)	油彩・麻布		
81	須田 国太郎	1891-1961	椿	昭和 15 年(1940)頃	油彩・麻布		
82	木村 荘八	1893-1958	静物	大正 6 年(1917)頃	油彩・麻布		
83	児島 善三郎	1893-1962	婦人像	大正14~昭和3年(1925-28)	油彩・麻布		
84	中川 一政	1893-1991	静物	大正 10 年(1921)	油彩・麻布		
85	青山 義雄	1894-1996	赤い雌牛	大正 14 年(1925)	油彩・カルトン		
86	古賀 春江	1895-1933	婦人	大正中期(1915-20 年頃)	水彩・紙		
87	里見 勝蔵	1895-1981	女	昭和 5 年(1930)頃	油彩・麻布		
88	前田 寛治	1896-1930	帽子の男(沼沢三郎氏像)	昭和 2 年(1927)	油彩・麻布		
89	佐伯 祐三	1898-1928	コルドヌリ(靴屋)	大正 14 年(1925)頃	油彩・麻布		
90	岡 鹿之助	1898-1978	観測所(信号台)	大正 15 年(1926)	油彩・麻布		
91	中西 利雄	1900-1948	彫刻と女	昭和 14 年(1939)	水彩・麻布	中西富江氏寄贈	
92	朝井 閑右衛門	1901-1983	画家像	昭和 11 年(1936)	油彩・麻布		
93	鳥海 青児	1902-1972	闘牛	昭和 7 年(1932)	油彩・麻布		
94	三岸 好太郎	1903-1934	花	昭和 8 年(1933)	油彩・麻布		
95	麻生 三郎	1913-2000	男	昭和 15 年(1940)	油彩・麻布		
<b>第VIII章 近代の日本画—昭和戦前期までの展開</b>							
96	竹内 栖鳳	1864-1942	水郷	昭和 16 年(1941)	紙本・墨画・軸装		
97	鏑木 清方	1878-1972	夏の女客	昭和 8 年(1933)	絹本・彩色・軸装		
98	富田 溪仙	1879-1936	長江鶴船	大正 8 年(1919)頃	紙本・淡彩屏風(六曲一双)		
99	今村 紫紅	1880-1916	牧童	明治 43 年(1910)頃	紙本・墨画・軸装		後期

No.	作者名	生没年	作品題名	制作年	材質・形状	備考	展示替
100	小杉 未醒	1881-1964	楽人と踊子	大正 10 年(1921)頃	紙本・金地彩色・屏風 (二曲一双)	志村國作氏 寄贈	
101	小林 古径	1883-1957	壺	昭和 25 年(1950)	絹本・彩色		
102	安田 鞞彦	1884-1978	鴨川夜情	昭和 7 年(1932)	紙本・墨画・彩色		
103	前田 青邨	1885-1977	鶺鴒	昭和 8 年(1933)頃	紙本・彩色		
104	土田 麦僊	1887-1936	熊野の冬	大正 6 年(1917)	絹本・彩色・軸装		
105	村上 華岳	1888-1939	山科春景	大正 8~9 年(1919-20)頃	絹本・彩色・軸装		前期
106	永田 春水	1889-1970	春暉曉艶	大正 15 年(1926)	絹本・彩色・軸装(双幅)		
107	小野 竹喬	1889-1979	海晴	昭和 4 年(1929)頃	紙本・彩色・屏風(二曲一隻)		
108	奥村 土牛	1889-1990	仔馬	昭和 12 年(1937)	絹本・彩色・屏風(二曲一隻)		
109	小茂田 青樹	1891-1933	乙艦帰帆	大正 4 年(1915)	絹本・彩色・軸装		
110	福田 平八郎	1892-1974	郷里豊後風景	大正 4~7 年(1915-18)頃	絹本・彩色・軸装		後期
111	長山 はく	1893-1995	罌粟	大正 14 年(1925)	絹本・彩色・屏風(二曲一隻)	関澤賢氏寄贈	
112	速水 御舟	1894-1935	寒林	大正 14 年(1925)	絹本・彩色・軸装		前期

### 第IX章 板谷波山と茨城の工芸

*	板谷 波山	1872-1963	葆光彩磁葡萄紋様花瓶	大正 11 年(1922)	磁器	茨城県陶芸美術館所 蔵 (特別出品)	
*	板谷 波山		青磁鳳耳花瓶	昭和 19 年(1944)	磁器	茨城県陶芸美術館所 蔵 (特別出品)	
*	松井 康成	1927-	練上嘯裂文大壺	昭和 54 年(1979)	陶器	茨城県陶芸美術館所 蔵 (特別出品)	
113	海野 建夫	1905-1982	白馬家族	昭和 41 年(1966)	鍛金		
114	飯田 美郎	1921-	薄暮のふくろう	昭和 41 年(1966)	鍛金		

### 第X章 永瀬義郎と創作版画 そしてその後一大正から昭和の版画

115	織田 一磨	1882-1956	大阪風景・浮世小路	大正 7 年(1918)	リトグラフ・紙		
116	前川 千帆	1888-1960	新東京百景一渋谷百軒店	昭和 4 年(1929)	木版・紙		
117	恩地 孝四郎	1891-1955	楽曲による抒情 No. 2-2 ドビュッシー「子供の領分」より 『象の子守歌』	昭和 25 年(1950)	木版・紙		
118	永瀬 義郎	1891-1978	風景	大正 5 年(1916)	木版・紙	樋口そえ子氏寄贈	
119	永瀬 義郎		髪	昭和 2 年(1927)	木版・紺紙・金刷	永瀬照子氏寄贈	
120	永瀬 義郎		風景(河口湖)	昭和 2 年(1927)	木版・紙	永瀬照子氏寄贈	
121	永瀬 義郎		花	昭和 3 年(1928)	木版・紙		
122	永瀬 義郎		団欒	昭和 30 年(1955)	スタンプ・モタ印・紙(3枚組)		
123	永瀬 義郎		自画像	昭和 35 年(1960)	木版・紙	作者寄贈	
124	長谷川 潔	1891-1980	コップに挿した種子草	昭和 36 年(1961)	メゾチント・紙		
125	斎藤 清	1907-1997	会津の冬(67)坂下立木観音	昭和 62 年(1987)	木版・紙	志村巖氏寄贈	
126	浜口 陽三	1909-2000	黒いさくらんぼ	昭和 39 年(1964)	カラーメゾチント・紙		
127	浜田 知明	1917-	初年兵哀歌(歩哨)	昭和 29 年(1954)	エッチング・アクリル・紙	照沼毅陽氏寄贈	
128	清宮 質文	1917-1991	コップの中の蝶	昭和 37 年(1962)	木版・紙	照沼毅陽氏寄贈	

### 第XI章 戦後美術の展開

129	清原 斉	1896-1956	宵	昭和 30 年(1955)	紙本・彩色		
130	酒井 三良	1897-1969	雪	昭和 38 年(1963)	紙本・淡彩		
131	小林 巢居人	1897-1978	きりはれる	昭和 48 年(1973)	紙本・彩色	小林登氏寄贈	
132	片岡 球子	1905-2008	春の富士(梅)	昭和 63 年(1988)	紙本・彩色・屏風(二曲一隻)		

No.	作者名	生没年	作品題名	制作年	材質・形状	備考	展示替
133	浦田 正夫	1910-1997	蔓	昭和48年(1973)	紙本・彩色	作者寄贈	
134	加倉井 和夫	1919-1995	ギリシャ回想	昭和53年(1978)	紙本・彩色		
135	那波多目 功一	1933-	廃園	昭和58年(1983)	紙本・彩色		
136	辻 永	1884-1974	須磨の朝	昭和31年(1956)	油彩・麻布		
137	北川 民次	1894-1989	重荷	昭和21年(1946)	油彩・麻布		
138	林 武	1896-1975	婦人像	昭和41年(1966)	油彩・麻布		
139	安藤 信哉	1897-1983	裸婦	昭和31年(1956)	油彩・麻布	安藤いそ氏寄贈	
140	稲田 三郎	1902-1970	海の静物	昭和25年(1950)	油彩・麻布	稲田ハル氏寄贈	
141	岡田 謙三	1902-1982	朝顔 No. 5	昭和54年(1979)	油彩・麻布		
142	山口 長男	1902-1983	圍繞	昭和31年(1956)	油彩・板		
143	春日部 たすく	1903-1985	風花	昭和39年(1964)	水彩・麻布		
144	小堀 進	1904-1975	夕照	昭和34年(1959)	水彩・紙	小堀昭氏寄贈	
145	斎藤 義重	1904-2001	無題・黒	昭和41年(1966)	油彩・板		
146	斎藤 義重		無題・赤	昭和41年(1966)	油彩・板		
147	三岸 節子	1905-1999	エッフェル塔	昭和60年(1985)	油彩・麻布		
148	森田 茂	1907-2009	黒川能 春の舞	平成2年(1990)	油彩・麻布	田中忍氏寄贈	
149	山口 薫	1907-1968	雪原	昭和33年(1958)	油彩・麻布		
150	服部 正一郎	1907-1995	花と俑	昭和33年(1958)	油彩・麻布		
151	森 芳雄	1908-1997	ある構成	昭和55年(1980)	油彩・麻布		
152	桂 ゆき	1913-1991	ひまわりの咲く午後	昭和23年(1948)	油彩・麻布		
153	麻生 三郎	1913-2000	少女像	昭和35年(1960)	油彩・麻布	作者寄贈	
154	木村 忠太	1917-1987	プロヴァンス地方の家	昭和62年(1987)	油彩・麻布		
155	鶴岡 義雄	1917-2007	少女の像	昭和25年(1950)	油彩・麻布		
156	村山 密	1918-	シャンゼリゼ	平成元年(1989)	油彩・麻布	作者寄贈	
157	利根山 光人	1921-1994	ビバ・メヒコ	昭和55年(1980)	油彩・麻布		
158	元永 定正	1922-	作品, 1964	昭和39年(1964)	エナメル・麻布		
159	白髪 一雄	1924-2008	普門品 雲雷鼓掣電	昭和55年(1980)	油彩・麻布		
160	金山 康喜	1926-1959	聖ヘレニウスの鍋	昭和25年(1950)	油彩・麻布		
161	堂本 尚郎	1928-	1959-5	昭和34年(1959)	油彩・麻布		
162	鬚嘸	1931-	虹	昭和37~39年(1962-64)	油彩・麻布		
163	柳田 昭	1948-	水温む頃	平成8年(1996)	水彩・グアッシュ・麻紙		
164	木内 克	1892-1977	女	昭和31年(1956)	テラコッタ		
165	後藤 清一	1893-1984	双樹	昭和35年(1960)	ブロンズ		
166	柳原 義達	1910-2004	犬の唄	昭和36年(1961)	ブロンズ		
167	堀内 正和	1911-2001	うらおもてのない帯 (メビウスの帯)	昭和52年(1977)	ステンレス・スチール	堀内淳子氏寄贈	
168	佐藤 忠良	1912-	帽子	昭和56年(1981)	ブロンズ		
169	舟越 保武	1912-2002	原の城	昭和46年(1971)	ブロンズ		
170	小森 邦夫	1917-1993	ながれ	昭和28年(1953)	ブロンズ		
171	建島 覚造	1919-2006	LANTERN 3	平成7年(1995)	合版・木・鉛		
172	土谷 武	1926-2004	作業台	昭和61年(1986)	コルテン鋼・軟鋼	作者寄贈	
173	一色 邦彦	1935-	津舞	昭和40年(1965)	ブロンズ		
174	河口 龍夫	1940-	関係—種子の食卓・蓮の 時—	平成3年(1991)	鉛・蓮・板		
175	能島 征二	1941-	悠久の時	平成12年(2000)	ブロンズ		

\*は、茨城県陶芸美術館より特別出品

## 法外な絵画 奥谷博展

●**会期** 平成20年6月7日（土）～7月21日（月・祝）

●**主催等** 主催 茨城県近代美術館  
東京新聞

協力 財団法人 日動美術財団

●**ポスター** B2

●**チラシ** A4（2種：一般用／学校配布用）

●**図録** 280×227mm 156頁

●**子供向けガイド** わくわくガイド A4

- ・自分を描く
- ・海のある町で生まれた奥谷さん。

●**入場者数** 6,912人

●**観覧料** 一般830（700）円／高大生580（470）円

小中生350（230）円

※（ ）内は20名以上の団体料金

●**出品点数** 90点

●**内容解説**

現代の洋画壇を代表する奥谷博の回顧展。奥谷は1934（昭和9）年、高知県宿毛市に生まれた。東京藝術大学で油彩画を学び、抽象絵画が時流であった当時から、一貫して具象絵画を描き続けている。

1967年 第1回文化庁在外研修員としてフランスに留学し、様々な作品に触れて西洋の伝統を学んだ奥谷は、1971年から3年間、再びフランスに滞在して異文化としての西洋絵画に触れたことから、日本人である画家としての自分を見つめ直さざるを得なくなった。時空を越えた様々なイメージを、青、黄、緑を基本とした強い色彩の対比で描く画風は、このような中から生まれたのである。

奥谷が東京藝術大学受験のために描いた「二十歳の自画像」をはじめ、鏡や凸面鏡に映った自画像のほか、家族とともに自分を描いた作品など、初期から最新作「自画像と自寫像—Le Puy」（2007年）まで、多数出品された自画像が注目を集めていた。また、2007年、パリのユネスコ本部ミロ・ホールで日本人初の個展「世界遺産条約採択35周年記念 奥谷博展 訪ねた世界遺産」が開催されたが、その時の出品作を含む世界遺産を描いた作品も展示した。会期中、作者と当館館長とによるギャラリートークには多数の参加者があり大変好評だった。

●**担当** 平野扶佐子（首席学芸員）

●**関連事業**

奥谷博×市川館長ギャラリートーク

日時 6月18日（水）、7月5日（土）

各日とも午1時30分～2時30分

ギャラリートーク

担当 平野扶佐子

日時 7月19日（土）午後1時30分～2時30分

夜のギャラリートーク

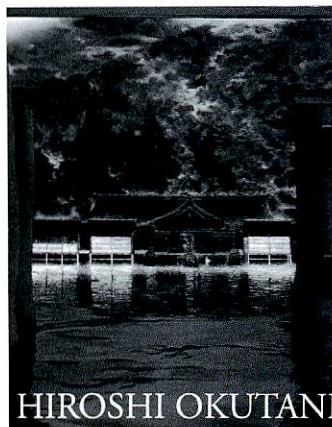
担当 当館学芸員

日時 期間中の毎週金曜日午後6時～6時20分

実技講座「自分と語る—自画像を油彩で」

講師 斉藤裕之

日時 6月28日（土）午前10時～午後4時30分



図録



ポスター-B2



チラシA4



わくわくガイド

## ●関連記事

- 強い色彩の対比, 独特の画風, 奥谷博展  
6月2日【東京新聞】
- 奥谷博展—法外な絵画 6月4日【朝日新聞】
- 時空を越えたイメージ, 法外な絵画 奥谷博展  
6月6日【両毛新聞】
- 洋画家 奥谷博展きょう開幕 画業の足跡一堂に  
6月7日【茨城新聞】
- 半世紀に及ぶ画業を紹介「奥谷博 法外な絵画」好評  
6月11日【常陽新聞】
- 法外な絵画の全貌 奥谷博展 6月11日【茨城新聞】
- 奥谷博展 法外な絵画 6月13日【産経新聞】
- 構図・色彩「さかん」な表現 奥谷博展  
6月18日【日本経済新聞】
- 時空を超え幻想的な世界描く—水戸で奥谷博展  
6月26日【朝日新聞】
- 奥谷博展 上 (平野扶佐子) 6月24日【東京新聞】
- 奥谷博展 中 (平野扶佐子) 6月25日【東京新聞】

- 奥谷博展 下 (平野扶佐子) 6月26日【東京新聞】
- 作家自ら解説, 県近代美術館 奥谷博展  
7月2日【茨城新聞】
- 奥谷博さんが回顧展 自分が決めた道を進んで  
7月9日【毎日新聞】

## ●関連放送

- 奥谷博展「わいわいスタジオ」  
6月6日【NHK県域デジタル放送】
- 奥谷博展「茨城ニュース845」  
6月6日【NHK県域デジタル放送】
- 奥谷博展「スクーパーレポート」  
6月17日【IBS茨城放送】
- 奥谷博展「わいわいスタジオ」  
6月20日【NHK県域デジタル放送】

## ● 出品作品一覧

No.	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	所蔵先
1	二十歳の自画像	昭和30年 (1955)	油彩・カンヴァス	72.7×60.8	個人蔵
2	鯨の静物	昭和30年 (1955)	油彩・カンヴァス	60.5×72.6	個人蔵
3	鶏小屋の見える風景	昭和33年 (1958)	油彩・カンヴァス	53.2×65	個人蔵
4	女の像	昭和36年 (1961)	油彩・カンヴァス	90.8×65.5	個人蔵
5	おじいさん	昭和37年 (1962)	油彩・カンヴァス	147.5×97	個人蔵
6	静物 (青木葉)	昭和37年 (1962)	油彩・カンヴァス	145.5×97	個人蔵
7	紙箱の静物	昭和37年 (1962)	油彩・カンヴァス	88.5×130	個人蔵
8	頭蓋骨のある静物	昭和38年 (1963)	油彩・カンヴァス	116.7×80.4	刈谷市美術館
9	トカゲと吹子	昭和39年 (1964)	油彩・カンヴァス	104.5×161.3	刈谷市美術館
10	キジとサギ	昭和39年 (1964)	油彩・カンヴァス	130.3×162.1	横須賀美術館
11	針千本	昭和40年 (1965)	油彩・カンヴァス	158×190	東京国立近代美術館
12	桐の木の下	昭和40年 (1965)	油彩・カンヴァス	158.4×189.2	茨城県近代美術館
13	貝と白珊瑚	昭和41年 (1966)	油彩・カンヴァス	149.4×181.2	東京藝術大学
14	ペランダのモンスター	昭和42年 (1967)	油彩・カンヴァス	180.5×220.5	神奈川県立近代美術館
15	室内	昭和42年 (1967)	油彩・カンヴァス	130.3×162.1	松村謙三コレクション
16	夜	昭和44年 (1969)	油彩・カンヴァス	194×259.3	松村謙三コレクション
17	緑雲青旦	昭和45年～46年 (1970-71)	油彩・カンヴァス	112.2×162.3	三重県立美術館
18	貴江七歳像	昭和49年 (1974)	油彩・カンヴァス	194.2×131	個人蔵
19	鏡の中の自画像と骨	昭和50年 (1975)	油彩・カンヴァス	171.5×200.5	神奈川県立近代美術館
20	大地	昭和53年 (1978)	油彩・カンヴァス	113×104	個人蔵
21	人我春秋	昭和53年 (1978)	油彩・カンヴァス	177.9×259.1	東京都現代美術館
22	1980年のアトリエの私	昭和55年 (1980)	油彩・カンヴァス	132×146.8	刈谷市美術館
23	胎	昭和55年 (1980)	油彩・カンヴァス	194.5×259.5	個人蔵
24	面壁	昭和54年～56年 (1979-81)	油彩・カンヴァス	113×104	個人蔵
25	足摺遠雷	昭和56年 (1981)	油彩・カンヴァス	141×147	神奈川県立近代美術館
26	自画像 (息)	昭和57年 (1982)	油彩・カンヴァス	146.5×114.3	東京藝術大学
27	塊	昭和57年 (1982)	油彩・カンヴァス	140×172	茨城県近代美術館
28	詩海	昭和58年 (1983)	油彩・カンヴァス	181×227	三重県立美術館
30	百花王	昭和59年～60年 (1984-85)	油彩・カンヴァス	116.7×90.9	豊田市美術館



No.	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	所蔵先
33	慟哭	昭和 63 年 (1988)	油彩・カンヴァス[2 枚組]	162.1×518	松村謙三コレクション
34	刻	昭和 63 年 (1988)	油彩・カンヴァス	177×191	青梅市立美術館
35	俱利伽羅紋紋	平成 2 年 (1990)	油彩・カンヴァス	145×112	個人蔵
36	芽出度い日	平成 2 年 (1990)	油彩・カンヴァス	191×227	個人蔵
38	轟く黒い生	平成 4 年 (1992)	油彩・カンヴァス[3 枚組]	207×751	高知県立美術館
39	雫	平成 4 年 (1992)	油彩・カンヴァス	193.8×259.1	松村謙三コレクション
40	月	平成 5 年 (1993)	油彩・カンヴァス	230×190	個人蔵
41	叫び	平成 5 年 (1993)	油彩・カンヴァス	181.8×259.1	東京藝術大学
42	温子像	平成 6 年 (1994)	油彩・カンヴァス	130.3×97	個人蔵
44	月露	平成 6 年 (1994)	油彩・カンヴァス	189.5×230	日本藝術院
45	男と横臥の女	平成 7 年 (1995)	油彩・カンヴァス	193.9×259.1	松村謙三コレクション
47	昼夜	平成 9 年 (1997)	油彩・カンヴァス	145.4×227.3	宿毛市
49	渦	平成 9 年 (1997)	油彩・カンヴァス	181.8×259.1	北里研究所大美術館コレクション
50	阿修羅	平成 10 年 (1998)	油彩・カンヴァス	130×162	笠間日動美術館
51	雨余	平成 10 年 (1998)	油彩・カンヴァス	130.3×162.1	宿毛市
52	仏頭	平成 10 年 (1998)	油彩・カンヴァス	190×230	個人蔵
54	海鷗旋渦	平成 12 年 (2000)	油彩・カンヴァス	192×227	松村謙三コレクション
55	刻の渦	平成 12 年 (2000)	油彩・カンヴァス[2 枚組]	169×414	個人蔵
56	2001 年二人	平成 13 年 (2001)	油彩・カンヴァス	181×259	松村謙三コレクション
57	虎	平成 13 年 (2001)	油彩・カンヴァス	162×194	個人蔵
58	日出処	平成 14 年 (2002)	油彩・カンヴァス	193×210	個人蔵
60	四手	平成 15 年 (2003)	油彩・カンヴァス	130×130	個人蔵
64	ノートルダム Dinant	平成 17 年 (2005)	油彩・カンヴァス	162×112	松村謙三コレクション
65	愛の湖	平成 17 年 (2005)	油彩・カンヴァス	97×130.3	松村謙三コレクション
66	白鷺城	平成 18 年 (2006)	油彩・カンヴァス	97×145.5	松村謙三コレクション
67	天の邪鬼	平成 18 年 (2006)	油彩・カンヴァス	150×121	松村謙三コレクション
68	霧り渡る	平成 18 年 (2006)	油彩・カンヴァス	171×242	松村謙三コレクション
69	自画像と自寫像-Le Puy-	平成 19 年 (2007)	油彩・カンヴァス	187×231	個人蔵
71	牛 (模写・15 歳の頃)	昭和 24 年 (1949)	鉛筆・紙	41×27.5	個人蔵
72	ランプの静物	昭和 37 年 (1962)	コンテ・クレヨン・紙	37.7×46	個人蔵
73	女のデッサン	昭和 37 年 (1962)	鉛筆・紙	36×25.2	個人蔵
74	顔	昭和 38 年 (1963)	鉛筆・紙	46×37.5	個人蔵
75	腕を組む裸婦	昭和 38 年 (1963)	鉛筆・紙	45×37.2	個人蔵
76	老人のデッサン	昭和 38 年 (1963)	鉛筆・紙	41×32.5	個人蔵
77	男のデッサン	昭和 39 年 (1964)	鉛筆・紙	63.2×47.6	個人蔵
78	裸婦	昭和 40 年 (1965)	鉛筆・ボールペン・紙	64.5×42	個人蔵
79	温子 24 歳	昭和 40 年 (1965)	鉛筆・紙	33.2×32.8	個人蔵
80	パリの女	昭和 43 年 (1968)	鉛筆・紙	46×32.5	個人蔵
81	アウゼアンの朝のデッサン	昭和 48 年 (1973)	鉛筆・紙	50.2×64.8	個人蔵
82	慟哭のエスキース	昭和 63 年 (1988)	木炭・色紙	55×176.3	個人蔵
83	素描・裸婦	昭和 64 年 (1989)	鉛筆・紙	79×54.5	浅見精一氏蔵
84	素描・裸婦	昭和 64 年 (1989)	鉛筆・紙	76.3×54	浅見精一氏蔵
85	哀のエスキース	平成 2 年 (1990)	鉛筆・紙	38.5×54	個人蔵
86	エスキース I—轟く黒い生—	平成 3 年 (1991)	水彩・鉛筆・紙	55×175.3	高知県立美術館
87	エスキース II—轟く黒い生—	平成 3 年 (1991)	水彩・鉛筆・紙	44×32	高知県立美術館
88	現世来世のエスキース	平成 12 年 (2000)	木炭・紙	40×105	個人蔵
89	鷺	平成 16 年 (2004)	ペン・色紙	55×73	個人蔵
90	婦人のドローイング	平成 17 年 (2005)	水彩・紙	81×65.5	個人蔵

## 明治の洋画

### — 解説から鑑賞へ —

- 会期 平成20年8月2日（土）～9月23日（火・祝）
- 主催等 主催 茨城県近代美術館  
協賛 関彰商事株式会社
- ポスター B2
- チラシ A4（2種：一般用／学校配布用）
- 図録 296×225mm 129頁
- 子供向けガイド わくわくガイド A4
  - ・何が、どう違うのでしょうか
  - ・こんな風景、どこかで見たことがありますか。
- 入場者数 10,115人
- 観覧料 一般830（700）円／高大生580（470）円  
小中生350（230）円  
※（ ）内は20名以上の団体料金
- 出品点数 86点
- 内容解説

明治時代、西洋文化の移入は、私たちの文化のあらゆる領域に大きな変化をもたらした。文化の作り手の意識や方法、様式の変化にとどまらず、作品を受容する側の楽しみ方やその形態も大きく変わった。たとえば文学作品は、それまでは文字の読める人が声に出して読むのをまわりで聞いて楽しむ人たちがいたが、明治になって読書といえ、ひとり黙読する習慣が一般的になった。また、音楽では、西洋音楽の普及とともに、コンサート会場で静粛に傾聴する鑑賞形態ができていったのも明治時代のことである。

美術の世界に目を向けると、明治の前半の高橋由一の時代には、博覧会の会場などで、人々は共に語り合いながら展示品を見ていた。現在のようなひとり静かに作品と対話するような鑑賞の形態は、明治のなかばに美術展が盛んに

なり、フランス帰りの黒田清輝らの叙情的な写実表現が登場してからのことと言えるであろう。

本展覧会では、現在の私たちにも影響を与えた、近代的な鑑賞が成立した明治期の洋画をひもとくと共に、これからの美術館における鑑賞のあり方についても考える機会とした。

- 担当 吉田衣里（学芸員）

### ●関連事業

#### 美術講演会

##### 「観客の成立」

日時 8月9日（土）午後1時30分～  
講師 市川政憲（当館館長）

##### 「明治の洋画～黒田清輝を中心に～」

日時 9月7日（日）午後1時30分～  
講師 田中淳（東京文化財研究所 企画情報部長）

##### 「小山正太郎と学問としての洋画」

日時 9月14日（日）午後1時30分～  
講師 金子一夫（茨城大学教育学部教授）

#### ギャラリートーク

日時 8月16日 9月13日  
各日とも午後1時30分～  
担当 吉田衣里（当館学芸員）

#### 夜のギャラリートーク

日時 期間中の毎週金曜日午後6時～6時20分

#### 実技講座「伝えたい思いを水彩画で描こう」

日時 8月22日、23日  
担当 当館学芸主事



図録



ポスターB2



チラシA4



わくわくガイド

●関連記事

- ・ 明治期洋画の変遷 県近代美術館企画展きょう開幕  
8月2日【茨城新聞】
- ・ 「解説」「鑑賞」キーワードに、9月23日まで「明治の洋画展」  
8月6日【常陽新聞】
- ・ 明治の洋画―解説から鑑賞へ―  
8月15日【日本経済新聞】
- ・ 明治の洋画展  
8月19日【読売新聞】
- ・ 美術講演やトークも 企画展明治の洋画―解説から解説へ―  
8月20日【毎日新聞】
- ・ 公共性生む他者の視線 県近代美術館市川館長「顧客の成立」テーマに講演  
9月1日【茨城新聞】

- ・ 「明治の洋画」展に読者10組招待  
9月5日【常陽新聞】
- ・ 絵画の楽しみ方どう変化「明治の洋画展」  
9月10日【朝日新聞】

●関連放送

- ・ 明治の洋画―解説から鑑賞へ「おはよう日本」  
8月27日【NHK総合テレビ】
- ・ 明治の洋画―解説から鑑賞へ「スクーパーレポート」  
9月5日【IBS茨城放送】

● 出品作品一覧

I イメージの共有

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法	所蔵	展示替
1	高橋由一	江の島図	明治9~10年(1876~77)	油彩、キャンバス	47×74	神奈川県立近代美術館	
2	高橋由一	甲冑図(武器配列図)	明治10年(1877)	油彩、キャンバス	113×164	靖国神社遊就館	
3	高橋由一	不忍池	明治13年頃(c.1880)	油彩、キャンバス	67×97.2	愛知県美術館	
4	高橋由一	楠正行如意輪堂に和歌を残すの図	明治25年(1892)	油彩、キャンバス	62×98	宮内庁三の丸尚蔵館	
5	中丸精十郎	ナイル河畔		油彩、キャンバス	56.5×89.5	山梨県立美術館	
6	田村宗立	弁慶曳鐘図	明治34年(1901)	油彩、キャンバス	92.4×134.8	京都国立博物館	
7	前田吉彦	勸学夜景図―熊沢蕃山、中江藤樹に入門を請う図	明治17年(1884)	油彩、キャンバス	50.8×64.5	神戸市立博物館	
8	山本芳翠	猛虎逍遙図		油彩、キャンバス	84.7×124.4	神戸市立博物館	
9	川村清雄	蛟龍天に昇る	明治26年頃(c.1893)	油彩、キャンバス	90.5×181	福富太郎コレクション資料室	
10	川村清雄	黄海大海戦	明治29年頃(c.1896)	油彩、キャンバス	34.5×64.5	福富太郎コレクション資料室	
11	川村清雄	貴賤図(御所車)	明治32年頃(c.1899)	油彩、キャンバス	93.8×159.5	唐津市	
12	浅井忠	武蔵野	明治31年(1898)	油彩、キャンバス	71.5×102.7	ポーラ美術館	
13	小山正太郎	濁膠療湯黄葉村店	明治22年(1889)	油彩、キャンバス	63.6×105.7	ポーラ美術館	
14	安藤伸太郎	日本の寺の内部	明治26年(1893)	油彩、キャンバス	107.3×76.7	神奈川県立近代美術館	
15	印藤真楯	夜桜	明治30年(1897)	油彩、キャンバス	60.5×87.5	京都国立近代美術館	
16	原田直次郎	上野東照宮	明治22年(1889)	油彩、キャンバス	86×71		
17	原田直次郎	素盞鳴尊八岐大蛇退治 画稿	明治28年頃(c.1895)	油彩、キャンバス	77.7×53.5	岡山県立美術館	
18	五百城文哉	春日山春景図(桃源図)	明治23年頃(c.1890)	油彩、キャンバス	39×79	栃木県立美術館	
19	五百城文哉	袋田の滝	明治25年頃(c.1892)	油彩、キャンバス	72×49	茨城県近代美術館	
20	五百城文哉	平潟港	明治33年頃(c.1900)	油彩、キャンバス	68×170	北茨城市教育委員会	
21	黒田清輝	昔語り下絵(構図II)	明治29年(1896)	油彩、キャンバス	41.1×63.3	東京国立博物館	◆
22	山内愚僊	朝妻舟	明治30年(1897)	油彩 布 二曲一隻	140.2×150	大阪市立近代美術館建設準備室	
23	中村不折	八重の潮路	明治39年(1906)	油彩、キャンバス	92.5×73	府中市美術館	
24	伊藤快彦	鴨川真景図	明治30年(1897)	油彩、キャンバス	32×135	京都市美術館	
25	伊藤快彦	能道具図	明治30年代	油彩、板	44.5×125	京都市立芸術大学芸術資料館	
26	伊藤快彦	熊野		油彩、漆塗板	44.7×44.7	星野画廊	
27	佐久間文吾	和気清麿奏神教図	明治23年(1890)	油彩、キャンバス	135.5×104.8	宮内庁三の丸尚蔵館	
28	岡田三郎助	矢調べ	明治26年(1893)	油彩、キャンバス	72.5×105	佐賀県立美術館	
29	小笠原豊涯	便り	明治37年頃(c.1904)	油彩、厚紙	45.4×60.6	星野画廊	
30	満谷国四郎	林大尉戦死	明治30年(1897)	油彩、キャンバス	101.5×159	宮内庁三の丸尚蔵館	
31	満谷国四郎	戦の話	明治39年(1906)	油彩、キャンバス	111×144	倉敷市立美術館	
32	中沢弘光	おもいで	明治42年(1909)	油彩、キャンバス	258×127.5	東京国立近代美術館	
33	中川八郎	謡本のある静物	明治35年(1902)	油彩、板	35×101.5		

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法	所蔵	展示替
<b>II 時代への共感</b>							
34	高橋由一	宮城県庁門前図	明治14年(1881)	油彩、キャンバス	61.1×122	宮城県美術館	
35	高橋由一	山形市街図 (山形県庁前通り)	明治14~15年 (1881~82)	油彩、キャンバス	104.4×151.5	山形県	
36	高橋由一	鑿道八景	明治18年(1885)	油彩(混合技法) 絹、8点組	各43.7×51.4	那須塩原市那須野が原博物館	
37	床次正精	三田製紙所全景	明治13年(1880)	油彩、キャンバス	99×129	紙の博物館	
38	本多錦吉郎	景色	明治31年(1898)	油彩、キャンバス	64.9×88.3	府中市美術館	
39	浅井忠	農人	明治23年頃(c.1890)	油彩、キャンバス	34.8×29.1	新潟県立近代美術館 ・万代島美術館	
40	小山正太郎	仙台の桜	明治14年(1881)	油彩、キャンバス	39.5×60.8	新潟県立近代美術館 ・万代島美術館	
41	高橋源吉	門	明治20年(1887)	油彩、キャンバス	32×44.5	浅尾空人氏	
42	彭城貞徳	和洋合奏之図	明治39年頃(c.1906)	油彩、キャンバス	73.2×150.4	長崎県美術館	
43	伊藤快彦	厨の春	明治28年頃(c.1895)	油彩、キャンバス	32×43	京都国立近代美術館	
44	湯浅一郎	漁家	明治31年(1898)	油彩、キャンバス	61×80.5	群馬県立近代美術館	
45	小林萬吾	渡舟	明治42年(1909)	油彩、キャンバス	155×267	香川県立ミュージアム	
46	白瀧幾之助	復習(さらひ)	明治36年(1903)	油彩、キャンバス	76×101	大阪市立近代美術館建設備室	
47	寺松国太郎	食後	明治42年(1909)	油彩、キャンバス	90.8×121		
48	赤松麟作	夜汽車	明治34年(1901)	油彩、キャンバス	161×200	東京藝術大学	
49	渡辺亮輔	水汲み	明治35年(1902)	油彩、キャンバス	130×89	宮城県美術館	
50	石井柏亭	草上の小憩	明治37年(1904)	油彩・パステル キャンバス	92×137.5	東京国立近代美術館	
51	渡辺与平	金さんと赤	明治41年(1908)	油彩、キャンバス	97×130.3	長崎県美術館	
52	日高文子	燈下婦人図	明治14年(1881)	油彩、キャンバス	42.4×57.5	浅尾空人氏	
<b>III 個の誕生</b>							
53	浅井忠	八王子付近の街	明治20年(1887)	油彩、キャンバス	45.5×60.6	愛知県美術館	
54	浅井忠	小丹波村	明治26年(1893)	油彩、キャンバス (パネル貼り)	27×39	三重県立美術館	
55	牧野克次	落葉	明治36年(1903)	油彩、キャンバス	90.8×151.8	京都市美術館	
56	黒田清輝	編物	明治23年(1890)	油彩、キャンバス	48.7×59.2	東京国立博物館	◆
57	黒田清輝	落葉	明治24年(1891)	油彩、キャンバス	76.2×62.1	東京国立近代美術館	
58	黒田清輝	残雪	明治25年頃(c.1892)	油彩、キャンバス	45.7×36.7	東京国立博物館	◆
59	黒田清輝	箱根宿	明治29年(1896)	油彩、キャンバス	41×27	茨城県近代美術館	
60	黒田清輝	暖き日	明治30年(1897)	油彩、キャンバス	50.2×61	愛知県美術館	
61	黒田清輝	庭の雪	明治38年(1905)	油彩、板	34×26	茨城県近代美術館	
62	久米桂一郎	秋景下図	明治28年(1895)	油彩、キャンバス	45.5×61	三重県立美術館	
63	久米桂一郎	残曛 下絵	明治31年(1898)	油彩、キャンバス	35.5×45.5	佐賀県立美術館	
64	久米桂一郎	雪の庭	明治31年(1898)	油彩、板	23.5×32.5	茨城県近代美術館	
65	藤島武二	幸ある朝	明治41年(1908)	油彩、キャンバス	148.5×93.5	泉屋博古館分館	
66	湯浅一郎	徒然	明治37年(1904)	油彩、キャンバス	133×68.5	群馬県立近代美術館	
67	白瀧幾之助	編物をする少女	明治28年(1895)	油彩、キャンバス	89.5×54.2	郡山市立美術館	
68	満谷国四郎	瀬戸内海	明治44年頃(c.1911)	油彩、キャンバス	45.4×60.2	福岡県立美術館	
69	鹿子木孟郎	津の停車場(春子)	明治31年(1898)	油彩、キャンバス	57.1×39	三重県立美術館	
70	和田英作	読書	明治35年(1902)	油彩、キャンバス	73.6×54	石橋財団石橋美術館	
71	山本森之助	落葉	明治33年(1900)	油彩、キャンバス	70.6×99.8		
72	高木背水	春雨	明治45年(1912)	油彩、キャンバス	48.5×55.5	佐賀県立美術館	
73	山口亮一	秋の日	明治42年(1909)	油彩、キャンバス	45.2×60.7	佐賀県立美術館	
74	森田恒友	農家の洗場	明治34年頃(c.1901)	油彩、キャンバス	33.5×45.5	埼玉県立近代美術館	

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法	所蔵	展示替
75	森田恒友	湖畔	明治40年(1907)	油彩、キャンバス	66×114	埼玉県立近代美術館	
76	小杉未醒	べぼうの木	明治43年(1910)	油彩、キャンバス	60×45	栃木県立美術館	
77	山下新太郎	窓際	明治41年(1908)	油彩、キャンバス	92.2×65	東京国立近代美術館	
78	山下新太郎	読書の後	明治41年(1908)	油彩、キャンバス	89.8×62.3	泉屋博古館分館	
79	青木繁	太田の森	明治36年(1903)	油彩、キャンバス	44.5×60.9	愛知県美術館	
80	青木繁	秋声	明治41年(1908)	油彩、キャンバス	133.7×100	福岡市美術館	
81	坂本繁二郎	大島の一部	明治40年(1907)	油彩、キャンバス	116.3×73	福岡市美術館	
82	太田喜二郎	窓辺読書	明治41～大正2年 (1908～13)	油彩、キャンバス	81×65	京都国立近代美術館	
83	福田たね 青木繁	逝く春	明治39年(1906)	油彩、キャンバス	126.2×83.5	府中市美術館	□
84	山脇信徳	雨の夕	明治41年(1908)	油彩、キャンバス	33.7×45.8	高知市教育委員会 (高知県立美術館寄託)	
85	中村彝	木立風景	明治42年(1909)	油彩、キャンバス	43×59	茨城県近代美術館	
86	岸田劉生	銀座数寄屋橋	明治42年頃(c.1909)	油彩、板	33×23.6	郡山市立美術館	

※ 途中一部、展示替え □ : 8月13日(水)以降展示 ◆9月9日(火)以降展示

# 大ナポレオン展

文化の光彩と精神の遺産

— The Spiritual and Cultural Legacy

●**会期** 平成20年11月22日(土)～平成21年1月25日(日)

●**主催等** 主催：茨城県近代美術館

協力：日本航空、ヤマトロジスティクス

協賛：関彰商事株式会社

企画協力：東京富士美術館

●**ポスター** B2

●**チラシ** A4 (2種：一般用/学校配布用)

●**図録** 210×210mm 126頁

編集・発行 東京富士美術館

●**子供向けガイド** わくわくガイド A4

・ナポレオンってどんな人？

・ナポレオンたちの暮らし

●**入場者数** 78,702人

●**観覧料** 一般1,050(950)円/高大生830(700)円

小中生470(350)円

※( )内は前売り及び20名以上の団体料金

●**出品点数** 134件

●**内容解説**

フランス革命の混乱を統制し、フランスの発展に多大な貢献をしたナポレオンは、政治的・軍事的天才として知られている。しかし彼はまた芸術や学問といった文化的な側面にも高い関心を寄せていた。

エジプト遠征の際には多くの学者や芸術家からなる学術調査団を同行させ、現在のエジプト学の基礎を作ったほか、戦利品として持ち帰った美術品をルーヴルに収めて美術館の整備を進める一方、地方にも様々な美術館を設置するなど、美術行政にも力を入れた。

本展では、海外でも有数のナポレオンの個人コレクターの作品に東京富士美術館の所蔵品を加えた絵画、彫刻、工芸、書簡、家具など134件を、ナポレオンの生涯に添った5つの章および当館で初めて展示したジュエリーの特別コーナーにより紹介し、彼とその時代を浮き彫りにした。

●**担当** 山口和子(主任学芸員)

●**関連事業**

夜のギャラリートーク

担当 当館学芸員

日時 期間中の毎週金曜日午後6時～6時20分

●**関連記事**

・茨城で初の開催、大ナポレオン展

11月7日【聖教新聞】

・「大ナポレオン展」チケットペアで10組プレゼント

11月19日【朝日新聞】

・大ナポレオン展

11月19日【毎日新聞】

・明日「大ナポレオン展」が開幕“精神の刀は剣に勝れり!!”

11月21日【聖教新聞】

・ナポレオンの至宝から<1>(山口和子) 11月21日

・ナポレオンの至宝から<2>(山口和子) 12月5日

・ナポレオンの至宝から<3>(山口和子) 12月19日

・ナポレオンの至宝から<4>(山口和子) 1月9日

・ナポレオンの至宝から<5>(山口和子) 1月23日

以上【聖教新聞】

・茨城で大ナポレオン展

11月22日【聖教新聞】

・きょうから「大ナポレオン展」

11月22日【常陽新聞】

・大ナポレオン展「貴重な絵画紹介」

11月22日【茨城新聞】

・県近代美術館前売り券扱い開始

11月23日【茨城新聞】

・ナポレオンの生涯、絵画や彫刻で迫る

11月27日【朝日新聞】

・県民の声 ナポレオンの魅力に触れた

12月17日【茨城新聞】

・皇帝の栄華にうっとり 大ナポレオン展好評

12月18日【産経新聞】

●**関連放送**

・「わいわいギャラリー」11月28日【NHK県域デジタル放送】  
他3日

・いばらきニュース 11月29日【NHK県域デジタル放送】

・こんにちはわいわいスタジオ「わいわいカルチャー美術館・大ナポレオン展」12月10日【NHK県域デジタル放送】

・大ナポレオン展「スクーパーレポート」  
12月10日【IBS茨城放送】

・「まちむら発 情報スタジオ 県庁スタジオ」  
12月11日【NHK県域デジタル放送】

・『夕刊ほっと』水曜カルチャー「ナポレオンと芸術」  
1月7日【IBS茨城放送】

・大ナポレオン展「みんなの教育」1月22日【IBS茨城放送】



図録



ポスターB2



チラシA4



わくわくガイド

## ● 出品作品一覧

### プロローグ

No.	作品名	作家名	制作年	材質・技法	所蔵先
1	青年ボナパルトの胸像	シャルル＝ルイ・コルベ	1798年	石膏・着色	東京富士美術館
2	ナポレオンの胸像	ジャン＝アントワーヌ・ウードンの作品による	19世紀	テラコッタ	東京富士美術館

### 第1章 少年・青年時代

3	聖霊騎士団長の衣装のルイ16世の肖像	アントワーヌ＝フランソワ・カレ	1786年	油彩、カンヴァス	個人蔵
4	フランス王妃マリー＝アントワネットの肖像	エリザベート＝ルイズ・ヴィジェルブラン	18世紀	油彩、カンヴァス	東京富士美術館
5	1792年の義勇兵の出発	ジュール・ジャック [リュードの作品に基づく]	1898年彫版 (1987年の刷り)	エッチング・ビュラン	東京富士美術館
6	マリー＝アントワネット、王妃裁判(国民公会)での弁明	作者不詳	19世紀初頭	エッチング	東京富士美術館
7	母レティツィア	作者不詳	制作年不詳	リトグラフ	東京富士美術館
8	右手に本をもって座るレティツィア	グロの絵画にもとづく	19世紀	大理石	個人蔵
9	若きナポレオン像	ルイ・ロシエの作品に基づく	制作年不詳	ブロンズ	東京富士美術館

### 第2章 歴史を拓く偉業

10	第一執政ボナパルト	アントワーヌ＝ジャン・グロ	1800-04年頃	油彩、カンヴァス	東京富士美術館
11	サン＝ベルナル峠を越えるボナパルト	ジャック＝ルイ・ダヴィッドによる	1805年	油彩、カンヴァス	東京富士美術館
12	タボル山の戦い	ジャック＝フランソワ・スヴェバック	1812年	油彩、カンヴァス	東京富士美術館
13	エジプト遠征中のナポレオン	ロバート・アレキサンダー・ヒリングフォード	19世紀	油彩、カンヴァス	個人蔵
14	アルコレ橋のボナパルト	ジュゼッペ・ロンギ [グロの作品に基づく]	1798年彫版 (1987年の刷り)	ビュラン	東京富士美術館
15	エジプト誌		1822年	エッチング (27点)	個人蔵
16	将軍ボナパルトの騎馬像	アントワーヌ＝ルイ・バリー	1847年	ブロンズ	個人蔵
17	ナポレオン騎馬像	アルマン・ジュール・ル・ヴェール	1853年	ブロンズ	個人蔵
18	第一執政ボナパルトの胸像	ルイ＝シモン・ボワヅ	19世紀初頭	大理石	個人蔵
19	ナポレオン軍の将校が使用していたラクダ用の鞍		1798年頃	木製、鉄、ブロンズ	個人蔵
20	レジオン・ドヌール勲章		1804-06年	鍍金メッキ、七宝、絹	東京富士美術館
21	「エジプトからの帰還」と呼ばれる食器セットとセンターピース	セーヴル窯	19世紀のオリジナルより再現	磁器	個人蔵
22	イタリアの信教の自由を支持するナポレオンの直筆書簡		1797年	インク、紙	創価大学
23	イタリア方面軍総司令官当時のナポレオンの直筆書簡		1797年5月30日、モンテベロ	インク、紙	東京富士美術館
24	ナポレオン法典 (英訳版)		1811年	紙、装丁本	東京富士美術館
25	若きウェルテルの悩み (ナポレオン蔵書)	ゲーテ著	19世紀初頭	紙、装丁本	東京富士美術館

### 第3章 栄光と落日

26	戴冠式の皇帝ナポレオン	ジャック＝ルイ・ダヴィッドの工房	1808年	油彩、カンヴァス	東京富士美術館
----	-------------	------------------	-------	----------	---------

No.	作品名	作家名	制作年	材質・技法	所蔵先	
27	皇帝ナポレオン1世と皇后ジョゼフィーヌの戴冠式	ジャック＝ノエル＝マリー・フレミー [ダヴィッドの作品に基づく]	19世紀	油彩、カンヴァス	東京富士美術館	
28	戴冠衣装の皇帝ナポレオンの肖像	アンヌ＝ルイ・ジロデ＝トリオンと工房	19世紀初頭	油彩、カンヴァス	東京富士美術館	
29	皇帝ナポレオンの肖像	フランソワ・ジェラルールの工房	19世紀初頭	油彩、カンヴァス	東京富士美術館	
30	盛装のナポレオン	ブーシェ・デノワイエ [ジェラルールの作品による]	原作は1805年	エッチング	東京富士美術館	
31	「戴冠式の記録」より 発する皇帝と皇后	チュイルリー宮殿を出	フランソワ・デクボリエ [イザベイトフォンテーヌの作品による]	19世紀彫版 (1987年の刷り)	エッチング、ビュラン	東京富士美術館
32	「戴冠式の記録」より の皇室馬車の到着	ノートル＝ダム寺院へ	ジャン＝バティスト・デュプレル [イザベイトフォンテーヌの作品による]	19世紀彫版 (1987年の刷り)	エッチング、ビュラン	東京富士美術館
33	「戴冠式の記録」より 盛装の皇帝ナポレオン	ピエール＝アレクサンドル・タルデュー、ジョルジュ・マルベストとジャン＝バティスト・デュプレル [イザベイトペルシエの作品による]	19世紀彫版 (1987年の刷り)	エッチング、ビュラン、着色	東京富士美術館	
34	「戴冠式の記録」より ース	盛装の皇后ジョゼフィーヌ	ピエール・オドワン [イザベイトペルシエの作品による]	19世紀彫版 (1987年の刷り)	エッチング、ビュラン、着色	東京富士美術館
35	「戴冠式の記録」より 教皇ピウス7世	ルイ＝ジャック・プティ [イザベイトペルシエの作品による]	19世紀彫版 (1987年の刷り)	エッチング、ビュラン、着色	東京富士美術館	
36	「戴冠式の記録」より 皇女	レミー・デルボー	19世紀彫版 (1987年の刷り)	エッチング、ビュラン、着色	東京富士美術館	
37	「戴冠式の記録」より 贈り物をもつ宮廷婦人	ルイ・ポーケ、ジャン・バティスト・デュプレル	19世紀彫版 (1987年の刷り)	エッチング、ビュラン、着色	東京富士美術館	
38	「戴冠式の記録」より 軽騎兵大将	ルイ・ポーケ	19世紀彫版 (1987年の刷り)	エッチング、ビュラン、着色	東京富士美術館	
39	「戴冠式の記録」より 胸甲騎兵大将	ルイ・ポーケ	19世紀彫版 (1987年の刷り)	エッチング、ビュラン、着色	東京富士美術館	
40	「戴冠式の記録」より 猟騎兵大将	ルイ・ポーケ	19世紀彫版 (1987年の刷り)	エッチング、ビュラン、着色	東京富士美術館	
41	「戴冠式の記録」より 主席紋章官	マッサール・ウルバン [イザベイトペルシエの作品による]	19世紀彫版 (1987年の刷り)	エッチング、ビュラン、着色	東京富士美術館	
42	「戴冠式の記録」より 竜騎兵大将	フランソワ・ピジョー	19世紀彫版 (1987年の刷り)	エッチング、ビュラン、着色	東京富士美術館	
43	ジョゼフ・ボナパルトの肖像	ロベール・ルフェーヴル	1811年頃	油彩、カンヴァス	東京富士美術館	
44	カロリーヌ・ボナパルトの肖像	ロベール・ルフェーヴル	1813年	油彩、カンヴァス	東京富士美術館	
45	ポーリーヌ・ボナパルトの肖像	アンヌ＝ルイ・ジロデ＝トリオン	19世紀初頭	油彩、カンヴァス	東京富士美術館	
46	ジェローム・ボナパルトの肖像	作者不詳	1810年	エッチング	東京富士美術館	
47	ルイ・ボナパルトの肖像	作者不詳	制作年不詳	エッチング・着色	東京富士美術館	
48	貴婦人の肖像	フランソワ＝アンリ・ミュラー	1810年頃	油彩、カンヴァス	東京富士美術館	
49	ナント侯アントワーヌ・フランセ伯爵の肖像	ジャック＝ルイ・ダヴィッドの工房	1811年頃	油彩、カンヴァス	東京富士美術館	
50	ミュラ元帥の肖像 (「イエナの戦い」部分)	エミール・ジャン＝オラス・ヴェルネ	19世紀前半	油彩、カンヴァス	個人蔵	
51	ネイ元帥の肖像	フランソワ＝ジョゼフ・キンソンに帰属	19世紀前半	油彩、カンヴァス	個人蔵	
52	振り子時計 ー 『オデュッセイア』		1795-99年頃	ブロンズに金メッキ、鉄、大理石	個人蔵	
53	第一帝政期の第81歩兵隊の鷲の旗飾り		1804年	ブロンズに金メッキ	個人蔵	



No.	作品名	作家名	制作年	材質・技法	所蔵先
54	鷲の紋章のあるタペストリー	オービュッソン製	1805年頃	布	個人蔵
55	皇后ジョゼフィーヌゆかりの振り子時計「眠れぬ夜」	ピエール＝フィリップ・トミール	1809年	ブロンズに金メッキ、大理石	個人蔵
56	ウーディノ元帥所有の置き時計「ホラティウス兄弟の誓い」	クロード・ガレ(1759-1815) とリュシアン＝フランソワ・フシェール(1780-1828)	1815年頃	ブロンズに金メッキ、大理石	東京富士美術館
57	銀製ティーポットと砂糖入れ	マルク・オーギュスタン・ルブラン	1819-1838年	銀に金メッキ	個人蔵
58	帝国近衛連隊騎兵用の吊り鞆		18世紀末-19世紀初頭	牛革、ウールの刺繍、ブロンズ	東京富士美術館
59	燭台形センターピース	ピエール＝フィリップ・トミール	19世紀	ブロンズに金メッキ	東京富士美術館
60	帝政様式のセンターピース		19世紀	ブロンズに金メッキ、鏡	個人蔵
61	胸甲騎兵部隊の胴鎧		19世紀	はがね、真鍮	東京富士美術館
62	ナポレオンが妹ポーリーヌに贈ったティーポット	シャルル＝ニコラ・オディオ	19世紀初頭	銀に金メッキ	個人蔵
63	皇帝ナポレオンのティーセット	アンリ・オーギュスト	19世紀初頭	銀に金メッキ	個人蔵
64	旅行用のサービスセット		19世紀初頭	鍍金メッキ、ガラス	個人蔵
65	鷲の装飾		19世紀初頭	木に金メッキ	個人蔵
66	ティーサービスセット	デロッシュの工房	19世紀前半	磁器	個人蔵
67	月光と蠟燭の灯火で手紙を読むナポレオン	ピエトロ・ベンヴェヌーティ	1810年	油彩、カンヴァス	東京富士美術館
68	ナポレオン軍の軍服—水彩画集より— 12枚	A. トレー	19世紀	水彩、紙	東京富士美術館
69	皇帝ナポレオン	ロベール・ルフェーヴル	19世紀初頭	油彩、カンヴァス	東京富士美術館
70	ジョゼフィーヌの肖像	作者不詳	19世紀	エッチング・着色	東京富士美術館
71	書斎のナポレオン	ジャック＝ルイ・ダヴィッドの作品による	19世紀初	エッチング	東京富士美術館
72	皇后ジョゼフィーヌの胸像	作者不詳	1800-10年頃	ブロンズ	東京富士美術館
73	皇帝ナポレオンの胸像	作者不詳	1800-10年頃	ブロンズ	東京富士美術館
74	ベートーヴェン	アルベール＝エルネスト・カリエ＝バルーズ	19世紀	テラコッタ	東京富士美術館
75	皇帝ナポレオンの胸像	アントニオ・カノーヴァの工房	19世紀	ブロンズ	個人蔵
76	ナポレオンのベッドを飾った孔雀の装飾		1805年頃	木製	個人蔵
77	皇帝ナポレオンの帽子	プパール	1814年頃	ビーバーの毛皮	個人蔵
78	『エジプトからの帰還』と呼ばれる鞋いを凝らした寝台	ジャコブ兄弟	1796-1803年	マホガニー、絹	個人蔵
79	マルメゾン宮殿で使用されていた筆記台		1810年頃	マホガニー、モロッコ革 ブロンズに金メッキ	東京富士美術館
80	折りたたみ式の遠征用ベッド	デズッシュ	1813年	鉄、真鍮	個人蔵
81	ソムノーと呼ばれたナイトテーブル		19世紀	マホガニー、ブロンズ に金メッキ、白大理石	個人蔵
82	肘掛け椅子	ピエール＝ブノワ・マルシオンに帰属	19世紀初頭	マホガニー、ブロンズ に金メッキ、布	個人蔵
83	古代風の椅子	シャルル・ペルシエのデザインに基づく	19世紀前半	木材に金メッキ、布	個人蔵
84	内務大臣で宛てた皇后ジョゼフィーヌの署名入り直筆書簡		1811年4月23日	紙、インク	東京富士美術館
85	ワチエール将軍と女官の結婚契約書 [ナポレオン、ジョゼフィーヌ、マリー＝ルイーゼの3人の連署名入文書]		1812年1月20日 /21日	インク、紙、モロッコ革装丁	東京富士美術館

No.	作品名	作家名	制作年	材質・技法	所蔵先
86	ルーヴル宮殿でアテナ像の前に立つナポレオン	アンドレア・アッピアーニ	1814年頃	油彩、カンヴァス	東京富士美術館
87	ローマ王の肖像	マリー＝フランソワ＝コン スタンス・メイエール	19世紀初頭	油彩、カンヴァス	個人蔵
88	皇帝ナポレオンとローマ王	作者不詳 [ストゥーベンの 作品による]	19世紀初	エッチング・着色	東京富士美術館
89	ライヒシュタット公爵	作者不詳	19世紀初	リトグラフ	東京富士美術館
90	ジョゼフィーヌがナポレオンから別れを告げられる場面	F. ディディオン	19世紀初頭	エッチング	東京富士美術館
91	ネイ元帥	ジュゼッペ・ドメニコ・グランディ	19世紀	ブロンズ	東京富士美術館
92	ネイ元帥が所有していた地図		1812年	革、紙	個人蔵
93	「戦争の惨禍」15番：もう助かる道はない	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ ・ルシエンテス	1892年(第2版)	エッチング、パニッ ツシャー、ドライポ イント、ビュラン	東京富士美術館
94	「戦争の惨禍」41番：炎をくぐって逃げる	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ ・ルシエンテス	1892年(第2版)	エッチング、ビュ ラン	東京富士美術館
95	「戦争の惨禍」43番：これもそうだ	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ ・ルシエンテス	1892年(第2版)	エッチング、アクアチ ン、パニッツシャー	東京富士美術館
96	「戦争の惨禍」44番：私は見た	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ ・ルシエンテス	1892年(第2版)	エッチング、ドライ ポイント、ビュラン	東京富士美術館
97	「戦争の惨禍」45番：そしてこれも見た	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ ・ルシエンテス	1892年(第2版)	エッチング、アクアチ ン、ラヴィ、ドライ ポイント、ビュラン	東京富士美術館
98	「戦争の惨禍」67番：これも負けず劣らずだ	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ ・ルシエンテス	1892年(第2版)	エッチング、アクアチ ン、パニッツシャー、(ラ ヴィ) ビュラン	東京富士美術館
99	「戦争の惨禍」76番：人食い禿鷹	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ ・ルシエンテス	1892年(第2版)	エッチング、ラヴィ、ド ライポイント、ビュラン、 パニッツシャー	東京富士美術館
100	「戦争の惨禍」78番：見事な防戦だ	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ ・ルシエンテス	1892年(第2版)	エッチング、パニッ ツシャー、アクアチン ト、ドライポイント	東京富士美術館
101	「戦争の惨禍」79番：真理は死んだ	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ ・ルシエンテス	1892年(第2版)	エッチング、ドライポ イント(飾り)、ビュラン、 パニッツシャー	東京富士美術館
102	フォンテーヌブローでのナポレオン	ポール・ドラローシュと工房	19世紀前半	油彩、カンヴァス	個人蔵
103	フォンテーヌブローで近衛兵に訣別するナポレオン	オラース・ヴェルネの作品に基づく	19世紀	エッチング	東京富士美術館
104	ナポレオン騎馬像	ジャン＝ルイ＝エルネスト・ メッソニエ	19世紀中頃	ブロンズ	個人蔵

#### 第4章 流刑・精神の闘争へ

105	閲兵する馬上のナポレオン、1815年	G. ボードマー [オラース・ ヴェルネの作品による]	19世紀	リトグラフ	東京富士美術館
106	ウェリントンの肖像	作者不詳	19世紀	エッチング・着色	東京富士美術館
107	船上にたたずむナポレオン	作者不詳	19世紀	リトグラフ	東京富士美術館
108	「セント＝ヘレナ島で描かれた版画集」より セント＝ヘレナ島	H. ウォード	1851年、 ロンドン	リトグラフ・着色	東京富士美術館
109	「セント＝ヘレナ島で描かれた版画集」より ナポレオンが暮らしたロングウッドの館	H. ウォード	1851年、 ロンドン	リトグラフ・着色	東京富士美術館
110	「セント＝ヘレナ島で描かれた版画集」より ナポレオンが逝去した部屋	H. ウォード	1851年、 ロンドン	リトグラフ・着色	東京富士美術館
111	「セント＝ヘレナ島で描かれた版画集」より ナポレオンの墓所	H. ウォード	1851年、 ロンドン	リトグラフ・着色	東京富士美術館
112	ナポレオンのデスマスク	リシャール、ケネルによる鋳造	1833年	ブロンズ	東京富士美術館

No.	作品名	作家名	制作年	材質・技法	所蔵先
113	1820年のセント=ヘレナ島におけるナポレオン(複製)	ウジェーヌ・ギヨームの作品による	1993年復刻	樹脂	東京富士美術館
114	セント=ヘレナ島でナポレオンが使用したと伝えられるインクスタンド		1815-21年頃	木製	東京富士美術館
115	セント=ヘレナ島でナポレオンが使用したと伝えられる肘掛け椅子	イギリス製	1818-21年頃	マホガニー、籐	個人蔵
116	ナポレオンの直筆回想録		1819-21年、セント=ヘレナ島	インク、紙	東京富士美術館
117	セント=ヘレナ島におけるナポレオン最期の記録		19世紀	モロッコ革装丁	創価大学
<b>エピソード ～パリ凱旋～</b>					
118	甦る皇帝ナポレオン	オラース・ヴェルネ	1840年	油彩、カンヴァス	個人蔵
119	セント=ヘレナでのナポレオンの死	ステューベン作品に基づく	19世紀	リトグラフ	個人蔵
120	ナポレオンの二回目の葬儀についての版画集より 19年ぶりに開けられた棺	作者不詳	19世紀	リトグラフ・着色	東京富士美術館
121	ナポレオンの二回目の葬儀についての版画集より パリ上陸	作者不詳	19世紀	リトグラフ・着色	東京富士美術館
122	ナポレオンの二回目の葬儀についての版画集より パリ入城	作者不詳	19世紀	リトグラフ・着色	東京富士美術館
123	ナポレオンの二回目の葬儀についての版画集より アンヴァリッド(廃兵院)に到着	作者不詳	19世紀	リトグラフ・着色	東京富士美術館
124	ナポレオンの二回目の葬儀についての版画集より アンヴァリッド内の遺体安置所	作者不詳	19世紀	リトグラフ・着色	東京富士美術館
<b>【ジュエリー】</b>					
125	ロシア皇室のハット・ピン	ロシア製	1769年	銀、ダイヤモンド、サファイア	東京富士美術館
126	ローマ皇帝のカメオ付スナッフボックス		1795年頃	金、カルセドニー、アルビオンアートアマゾナイト	個人蔵(協力:アルビオンアートジュエリーインスティテュート)
127	ゴールドとパールのスイート	イギリス製	1810年頃	金、パール	個人蔵(協力:アルビオンアートジュエリーインスティテュート)
128	ジョージ4世インタリオ・ペンダント	イギリス製	1820年頃	金、カーネリアン製インタリオ	東京富士美術館
129	ウェリントン公爵のインタリオ・ペンダント	イギリス製	1820年頃	金、カーネリアン製インタリオ	東京富士美術館
130	ケレスのティアラ		1820年頃	金、銀、ダイヤモンド	個人蔵(協力:アルビオンアートジュエリーインスティテュート)
131	ナポレオンのインタリオ・ブローチ	グラフィス&ウェイゴール	1825年頃	カーネリアン製インタリオ、ルビー、エメラルド、サファイア、ラピス・ラズリ、アメジスト	東京富士美術館
132	ゴールドとトパーズのデミ・パリュール	イギリス製(推定)	1825年頃	金、トパーズ	アルビオンアート・コレクション
133	野バラのティアラ		1830年	金、銀、ダイヤモンド、ルビー	個人蔵(協力:アルビオンアートジュエリーインスティテュート)
134	オンディーヌのティアラ	イギリス製 イリップス	ロバート・フ 1860年頃	金、珊瑚	個人蔵(協力:アルビオンアートジュエリーインスティテュート)

没後30年

# 安田鞞彦展

- 会期 平成21年2月7日(土)～3月22日(日)
- 主催等 主催：茨城県近代美術館  
協賛：株式会社常陽銀行 関彰商事株式会社
- ポスター B2
- チラシ A4 (2種：一般用/学校配布用)
- 図録 296×210mm 176頁  
編集・発行 茨城県近代美術館
- 子供向けガイド わくわくガイド A4
  - ・歴史上の英雄たちは、どんな気持ちなのでしょう
  - ・動きのリズム 色彩のコントラスト 生き生きとしたポーズ
- 入場者数 12,187人
- 観覧料 一般830(700)円/高大生580(470)円  
小中生350(230)円  
※( )内は20名以上の団体料金
- 出品点数 124点(日本画86点、素描34点、資料4点)
- 内容解説

近代を代表する日本画家安田鞞彦(1884～1978)は、明治末から大正・昭和にわたって、歴史や文学を題材にした人物画により新たな日本画を創造し続けた。登場人物の内面に迫る表現に加え、日本や東洋の古美術研究で得た理知的な構図や典雅な色彩、緊張感のある線描などに、独自の芸術を展開させた。また歴史人物画で培った深い洞察力にもとづく優れた肖像画ものこしている。

岡倉天心に認められた鞞彦は、明治40年(1907)、茨城県の北部、五浦の日本美術院研究所に招かれ、日本画の近代化に邁進する横山大観や菱田春草らの真摯な制作姿勢に感銘を受ける。彼はこれを機に大きく飛躍し、大正3年(1914)には大観らと日本美術院の再興に参加し、その後は再興院展の中心画家として活躍した。

没後30年を迎え、鞞彦にゆかりのある茨城の地で、歴史人物画、肖像画、静物画など、多岐にわたる彼の芸術の魅力を紹介した。

- 担当 中田智則(主任学芸員)
- 関連事業
  - 美術講演会  
「安田鞞彦の芸術」  
講師 草薙奈津子(平塚市美術館長)  
日時 3月7日(土) 午後1時30分～3時30分
  - ギャラリートーク  
担当 中田智則(主任学芸員)  
日時 2月15日(日)、3月14日(土)  
各日とも午後1時30分～2時30分
  - 夜のギャラリートーク  
担当 当館学芸員  
日時 期間中の毎週金曜日午後6時～6時20分

- 関連記事
  - ・近代歴史画を確立・没後30年安田鞞彦展  
1月21日【毎日新聞】
  - ・安田鞞彦「没後30年展」肖像画、静物画など100点を  
【常陽新聞】
  - ・没後30年 安田鞞彦展 2月6日【読売新聞】
  - ・安田鞞彦画業回顧120点・品格の歴史人物画  
2月7日【茨城新聞】
  - ・安田鞞彦の図録を寄贈、常銀、県内の小中高に  
2月7日【常陽銀行】
  - ・安田画伯の画業回顧 2月7日【茨城新聞】
  - ・「安田鞞彦展」関連で歴史物語コンサート、来月1日、水戸  
2月13日【茨城新聞】
  - ・歴史人物画に優品 安田鞞彦展2月20日【茨城新聞】
  - ・安田鞞彦展〈1〉梅花定窠瓶(中田智則) 2月21日
  - ・安田鞞彦展〈2〉風神雷神(中田智則) 2月24日
  - ・安田鞞彦展〈3〉大観先生(中田智則) 2月28日
  - ・安田鞞彦展〈4〉守屋大連(中田智則) 3月3日
  - ・安田鞞彦展〈5〉飛鳥の春の額田王(中田智則)  
3月7日 以上【茨城新聞】
  - ・没後30年安田鞞彦展 2月27日【日本経済新聞】
  - ・安田鞞彦、個展への誠実 3月5日【読売新聞】
  - ・近代歴史画確立した安田鞞彦の回顧展開催  
3月16日【毎日新聞】



図録



ポスターB2



チラシA4



わくわくガイド

●関連放送

- ・ 「新日曜美術館 アートシーン」 2月22日【NHK教育】
- ・ 「いばらきわいわいスタジオ」  
2月23日【NHK県域デジタル放送】
- ・ 没後30年 安田鞆彦展「ニュース」  
3月9日【NHK県域デジタル放送】
- ・ 「わいわいギャラリー」  
2月27日【NHK県域デジタル放送】 他1日
- ・ 「いばらきわいわいスタジオ 県内のニュース」  
3月9日【NHK県域デジタル放送】
- ・ 「茨城ニュース845」 3月9日【NHK県域デジタル放送】

● 出品作品一覧

番号	作品名	制作年	材質・技法	形状	寸法 縦×横 cm	出品歴	所蔵
1	遣唐使	明治33(1900)年	絹本・彩色	額装	54.8×33.0	第8回日本絵画協会第3回日本美術院連合絵画共進会	個人
2	出陣	明治35(1902)年頃	絹本・彩色	軸装	48.0×57.8		個人
3	田村將軍	明治36(1903)年頃	絹本・彩色	軸装	123.3×55.2		個人
4	宇治合戦図	明治36(1903)年頃	絹本・彩色	軸装	120.5×53.9		平塚市美術館
5	松風	明治39(1906)年	絹本・彩色	軸装	133.5×86.0	第7回紅児会展	横浜美術館
6	静訣別之図	明治39(1906)年頃	絹本・彩色	軸装	146.3×94.5		滋賀県立近代美術館
7	守屋大連	明治41(1908)年	絹本・彩色	軸装	150.3×57.0	国画玉成会展	愛媛県美術館
8	両雄遙望江戸図	明治44(1911)年頃	絹本・彩色	軸装	122.6×50.0		個人
9	相撲の節	明治45(1912)年	絹本・彩色	軸装	113.0×41.7	現代名家風俗画展	平塚市美術館
10	紅葉の賀	明治末～大正初期	絹本・彩色	軸装	129.2×50.8		個人
11	薫風	明治末～大正初期	絹本・彩色	軸装	112×42		個人
12	花の酔	大正元(1912)年頃	絹本・彩色	軸装	138.9×56.8		宮城県美術館
13	羅浮仙	大正初期	絹本・彩色	軸装	125.0×55.7		個人
14	今村紫紅像	大正5(1916)年	紙本・彩色	軸装	105.0×91.5		東京国立博物館
15	日食	大正14(1925)年	紙本・彩色	軸装	83.2×116.4		平塚市美術館
16	西廂待月	大正15(1926)年	絹本・彩色	軸装	48.1×71.2	第5回革丙会展	滋賀県立近代美術館
17	風神雷神	昭和4(1929)年	紙本・彩色	二曲一双 屏風	177.0×191.0	第16回再興院展	(財)遠山記念館
18	風来山人	昭和5(1930)年	絹本・彩色	軸装	78.0×118.0	第17回再興院展	豊田市美術館
19	をぐらの山	昭和5(1930)年	絹本・彩色	軸装	141.6×41.2	琅玕洞展	三重県立美術館
20	菖蒲	昭和6(1931)年	紙本・墨画彩色	軸装	138.0×90.0	現代日本画展(米国・トレド美術館)	京都国立近代美術館
21	伊勢物語 あまのかみ	昭和6(1931)年	絹本・彩色	軸装(双幅)	137.5×41.8	第10回革丙会	個人
22	鈴屋翁	昭和7(1932)年	絹本・彩色	軸装	47.5×56.0		三重県立美術館
23	插花	昭和7(1932)年	紙本・彩色	軸装	155.2×97.6	第19回再興院展	東京国立近代美術館
24	鴨川夜情	昭和7(1932)年	紙本・彩色	額装	86.0×119.9	第3回七絃会展	茨城県近代美術館
25	宮本二天像	昭和8(1933)年	絹本・彩色	軸装(双幅)	144.8×49.5	第4回七絃会展	平塚市美術館
26	源氏若紫	昭和8(1933)年	絹本・彩色	軸装	130.7×50.7		茨城県近代美術館
27	月の兎	昭和9(1934)年	紙本・淡彩	卷子	53.3×1500.0	第21回再興院展	愛知県美術館
28	吉水の庵	昭和9(1934)年	絹本・彩色	軸装	73.0×100.6	第5回七絃会展	乗蓮寺
29	洛陽花	昭和9(1934)年	絹本・彩色	軸装	46.8×58.0		メナード美術館
30	北斗	昭和9(1934)年	絹本・彩色	軸装		第2回日本美術院同人作品展	個人
31	羅浮仙	昭和10(1935)年頃	絹本・彩色	軸装	129.5×50.8		茨城県近代美術館
32	孔子觀河	昭和11(1936)年	絹本・彩色	軸装	45.9×57.3	多聞洞展	平塚市美術館
33	花づと	昭和12(1937)年	絹本・彩色	額装	161.6×76.0	第24回再興院展	(財)宮本記念財団
34	方丈閑日	昭和12(1937)年	紙本・彩色	軸装	81.0×115.0	第8回七絃会展	福井県立美術館
35	兎	昭和13(1938)年	絹本・彩色	軸装	94.9×43.6		(株)サイトウミート
36	おみなえし	昭和13(1938)年	紙本・彩色	軸装	40.5×51.5		個人
37	天之八衢	昭和14(1939)年	紙本・彩色	軸装	94.7×127.3	第26回再興院展	福井県立美術館
38	新蔬	昭和15(1940)年	紙本・彩色	軸装	39.1×56.9		平塚市美術館

番号	作品名	制作年	材質・技法	形状	寸法 (縦×横 cm)	出品歴	所蔵
39	瓢箪の花	昭和15(1940)年	紙本・彩色	軸装	98.0×55.5	第7回清光会展	青梅市立美術館
40	楠公	昭和15(1940)年頃	絹本・彩色	軸装	54.0×71.9		平塚市美術館
41	源氏拳兵	昭和16(1941)年	紙本・彩色	軸装	158.0×68.0	第12回七絃会展	京都国立近代美術館
42	わびすけ	昭和16(1941)年頃	紙本・彩色	額装	40.0×27.0		名都美術館
43	九郎義経	昭和17(1942)年	紙本・彩色	軸装	57.5×71.2	第2回尚綱会展	三井記念美術館
44	憶良の家	昭和17(1942)年	紙本・彩色	軸装	78.5×102.0	第13回七絃会展	個人
45	波上燦光	昭和17(1942)年頃	紙本・彩色	軸装	151.0×56.0		豊田市美術館
46	赤星母堂像	昭和18(1943)年	紙本・彩色	軸装	134.5×56.6		平塚市美術館
47	神皇正統記	昭和18(1943)年	絹本・彩色	額装	53.5×72.5		古川美術館
48	黄瀬川陣	昭和18(1943)年	絹本・彩色	軸装(双幅)	132.0×42.5		個人
49	山本五十六元帥像	昭和19(1944)年	紙本・彩色	軸装	248.5×124.5	文部省戦時特別美術展	東京藝術大学
50	豊太閤	昭和戦前期	絹本・彩色	額装	55.2×72.8		個人
51	古事記	昭和21(1946)年	紙本・彩色	軸装	44.0×59.5		愛媛県美術館
52	謡坂	昭和21(1946)年	絹本・彩色	軸装	53.7×70.0		メナード美術館
53	観世音菩薩像	昭和21(1946)年	紙本・彩色	軸装	112.4×32.4	第11回清光会展	個人
54	小鏡子	昭和22(1947)年	紙本・彩色	額装	48.2×59.4	上野松坂屋同人展	川崎市市民ミュージアム
55	良寛和尚	昭和22(1947)年	紙本・彩色	軸装	38.3×52.3		個人
56	朝霧	昭和26(1951)年	紙本・彩色	軸装	61.3×76.3	第4回清流会展	個人
57	木花之佐久夜毘売	昭和28(1953)年	紙本・彩色	軸装	174.0×74.8	第38回再興院展	個人
58	淡妝	昭和28(1953)年	紙本・彩色	額装	105.6×56.4	第6回清流会展	個人
59	鴻門会	昭和30(1955)年	紙本・彩色	額装	78.0×132.5	第40回再興院展	東京国立近代美術館
60	伏見の茶亭	昭和31(1956)年	紙本・彩色	軸装	109.3×117.5	第41回再興院展	東京国立近代美術館
61	良寛和尚像	昭和31(1956)年	紙本・彩色	軸装	60.4×43.8	尚美会展	個人
62	飛鳥をとめ	昭和33(1958)年	紙本・彩色	額装	146.3×81.8	第43回再興院展	石川県立美術館
63	柿	昭和33(1958)年	紙本・彩色	額装	50×60	高島屋美術部五十年記念展	個人
64	大観先生	昭和34(1959)年	紙本・彩色	額装	105.1×79.0	第44回再興院展	東京国立近代美術館
65	紅梅	昭和36(1961)年	紙本・彩色	額装	164.4×91.8	第46回再興院展	滋賀県立近代美術館
66	紅梅高麗扁壺瓶	昭和36(1961)年	紙本・彩色	額装	66.3×81.5		(株)明治座
67	茶室	昭和37(1962)年	紙本・彩色	額装	132.0×75.5	第47回再興院展	福島県立美術館
68	草紙洗小町	昭和37(1962)年	紙本・彩色	軸装	46.2×65.0		三井記念美術館
69	梅花定窯瓶	昭和38(1963)年	紙本・彩色	額装	53.0×45.5	第7回高樹会展	豊田市美術館
70	飛鳥の春の額田王	昭和39(1964)年	紙本・彩色	額装	131.1×80.2	第49回再興院展	滋賀県立近代美術館
71	谷崎潤一郎氏像	昭和39(1964)年	紙本・墨画彩色	額装	45.0×34.3		個人
72	不盡山	昭和30年代	紙本・彩色	軸装	43.5×58.5		(財)二階堂美術館
73	女楽の人々	昭和40(1965)年	紙本・彩色	額装	60.0×45.0	第9回高樹会展	個人
74	伎楽面 酔胡徒	昭和43(1968)年	紙本・彩色	額装	46×54	第23回春季院展	(株)思文閣
75	卑弥呼	昭和43(1968)年	紙本・彩色	額装	113.3×78.4	第53回再興院展	滋賀県立近代美術館
76	酔胡王随従	昭和44(1969)年	紙本・彩色	額装	51.2×66.2	第24回春季院展	個人
77	森蘭丸	昭和44(1969)年	紙本・彩色	額装	92.7×111.0	第54回再興院展	ウッドワン美術館
78	彩壺と偶人	昭和44(1969)年	紙本・彩色	額装	45.5×37.8	彩壺会展	個人
79	出陣の舞	昭和45(1970)年	紙本・彩色	額装	162.3×84.7	第55回再興院展	山種美術館
80	志賀直哉氏像	昭和46(1971)年	紙本・彩色	額装	23.7×24.6		個人
81	飛鳥大仏と止利仏師	昭和47(1972)年	紙本・彩色	額装	80.5×58.0	天心と現代日本画展	滋賀県立近代美術館
82	富士秋霽	昭和47(1972)年	紙本・彩色	額装	60.5×49.8	第27回春季院展	メナード美術館
83	後南朝自天王像	昭和48(1973)年	紙本・彩色	額装	84.5×56.0	第28回春季院展	メナード美術館
84	草薙の剣	昭和48(1973)年	紙本・彩色	額装	125.5×66.0	第58回再興院展	川崎市市民ミュージアム
85	鞍馬寺参籠の牛若	昭和49(1974)年	紙本・彩色	額装	127.8×59.8	第59回再興院展	滋賀県立近代美術館

番号	作品名	制作年	材質・技法	形状	寸法 (縦×横 cm)	出品歴	所蔵
追加 出品	蘭	昭和 38 (1963) 年	紙本・彩色	額装	58.5×46.1	第 18 回春季院展	個人
資 1	東京美術学校授業課題画 臨画 (東福寺釈迦坐像)	明治 34 (1901) 年	紙本・墨画	額装	65.0×46.6		茨城県天心記念五 浦美術館
資 2	東京美術学校授業課題画 写生 (菊)	明治 34 (1901) 年	紙本・彩色	額装	61.2×45.0		茨城県天心記念五 浦美術館
資 3	安田靉彦宛 岡倉天心書簡 (明治 42 年 5 月 21 日付)	明治 42 (1909) 年	紙・墨	軸装	17.0×32.5		茨城県天心記念五 浦美術館
資 4	安田靉彦宛 岡倉天心書簡 (明治 44 年 12 月 31 日付)	明治 44 (1911) 年	紙・墨	軸装	16.5×49.5		茨城県天心記念五 浦美術館
素 1	婦人像	昭和 12 (1937) 年頃	鉛筆, 水彩・紙	額装	53.7×39.8		川崎市市民ミュー ジウム
素 2	婦人像 (「花づと」のための)	昭和 12 (1937) 年頃	鉛筆・紙	額装	35.0×46.0		川崎市市民ミュー ジウム
素 3	赤星母堂像畫藁	昭和 18 (1943) 年	鉛筆・紙 (全 12 区)	折帖	52.7×30.0		平塚市美術館
素 4	赤星母堂像下絵	昭和 18 (1943) 年	紙本・墨画, 淡彩	軸装	131.9×54.0		平塚市美術館
素 5	大観先生像①		鉛筆・紙	額装	34.2×25.4		川崎市市民ミュー ジウム
素 6	大観先生像②		鉛筆・紙	額装	34.2×25.2		川崎市市民ミュー ジウム
素 7	大観先生像③		鉛筆・紙	額装	35.2×25.2		川崎市市民ミュー ジウム
素 8	大観先生像④		鉛筆・紙	額装	39.2×27.0		川崎市市民ミュー ジウム
素 9	大観先生像⑤		鉛筆・紙	額装	34.2×28.0		川崎市市民ミュー ジウム
素 10	大観先生像⑥		鉛筆・紙	額装	42.6×32.4		川崎市市民ミュー ジウム
素 11	翡翠	昭和 8 (1933) 年	鉛筆, 水彩・紙	額装	27.3×34.7		川崎市市民ミュー ジウム
素 12	鶯	昭和 15 (1940) 年	鉛筆, 水彩・紙	額装	27.0×35.4		川崎市市民ミュー ジウム
素 13	目白		鉛筆, 水彩・紙	額装	27.4×36.2		川崎市市民ミュー ジウム
素 14	鴉		鉛筆, 水彩・紙	額装	26.5×39.4		川崎市市民ミュー ジウム
素 15	山兔		鉛筆, 水彩・紙	額装	43.6×67.1		川崎市市民ミュー ジウム
素 16	高砂百合		鉛筆, 水彩・紙	額装	33.9×43.1		川崎市市民ミュー ジウム
素 17	白椿		鉛筆, 水彩・紙	額装	26.4×35.2		川崎市市民ミュー ジウム
素 18	萩		鉛筆, 色鉛筆, 水彩・紙	額装	25.4×35.6		川崎市市民ミュー ジウム
素 19	菖蒲		鉛筆, 水彩・紙	額装	37.2×25.5		川崎市市民ミュー ジウム
素 20	菊	昭和 29 (1954) 年	色鉛筆・紙	額装	38.8×26.3		川崎市市民ミュー ジウム
素 21	山桜		鉛筆, 水彩・紙	額装	52.4×64.0		川崎市市民ミュー ジウム
素 22	山百合		色鉛筆・紙	額装	36.6×52.4		川崎市市民ミュー ジウム
素 23	菜の花		鉛筆, 水彩・紙	額装	56.3×51.0		川崎市市民ミュー ジウム
素 24	下野		鉛筆, 水彩・紙	額装	53.8×40.2		川崎市市民ミュー ジウム
素 25	ほおずき		鉛筆, 水彩・紙	額装	54.0×34.3		川崎市市民ミュー ジウム

番号 作品名	制作年	材質・技法	形状	寸法 (縦×横 cm)	出品歴	所蔵
素 26 朝顔		鉛筆, 水彩・紙	額装	36.6×51.6		川崎市市民ミュージアム
素 27 山吹		鉛筆, 水彩・紙	額装	27.8×38.8		川崎市市民ミュージアム
素 28 紅ばら	昭和 41 (1966) 年	鉛筆, 色鉛筆, 水彩・紙	額装	34.9×44.5		川崎市市民ミュージアム
素 29 額紫陽花	昭和 26 (1951) 年	鉛筆, 色鉛筆, 水彩・紙	額装	52.2×44.7		川崎市市民ミュージアム
素 30 佐助椿		墨, 岩絵の具・紙	額装	38.9×27.1		川崎市市民ミュージアム
素 31 白梅		鉛筆, 水彩・紙	額装	37.1×56.6		川崎市市民ミュージアム
素 32 桜		鉛筆, 水彩・紙	額装	34.7×44.5		川崎市市民ミュージアム
素 33 紅梅		鉛筆, 水彩・紙	額装	34.6×44.4		川崎市市民ミュージアム
素 34 椿 太郎庵		鉛筆, 水彩・紙	額装	24.8×34.7		川崎市市民ミュージアム



## 1 常設展

第1常設展示室では、中村彝、五浦の作家、小川芋銭、本県を代表する作家の作品に加えて近代美術の名品を順次展示した。一方、第2常設展示室では所蔵品による企画展示とし、それぞれ特色のある一つの展覧会として展開し、3,000点余りの所蔵品の中から順次紹介した。

●入館者数 135,135人

●観覧料 一般300(230)円／高大生230(170)円／小中生170(110)円

※( )内は20名以上の団体料金、および入館引換券

●会期及びテーマ

第1常設展示室			第2常設展示室		
No.	期間	テーマ	No.	期間	テーマ
1	5月28日(水) ～7月27日(日)	茨城の作家と日本の近代美術 1期	1	5月28日(水) ～7月27日(日)	木村武山 杉戸絵展
2	7月30日(水) ～9月23日(火・祝)	茨城の作家と日本の近代美術 2期	2	7月30日(水) ～9月23日(火・祝)	二世 五姓田芳柳
3	11月1日(土) ～12月14日(日)	茨城の近現代美術展 —近代茨城の美の精華—	3	11月1日(土) ～12月14日(日)	茨城の近現代美術展 —近代茨城の美の精華—
4	12月17日(水) ～2月15日(日)	茨城の作家と日本の近代美術 3期	4	12月17日(水) ～2月15日(日)	ドーミエ版画展
5	2月18日(水) ～4月12日(日)	茨城の作家と日本の近代美術 4期	5	2月18日(水) ～4月12日(日)	静物画展

## ● 出品作品一覧

### 第1常設展示室

#### 「茨城の作家と日本の近代美術」1～4期

日本美術院を創設した岡倉天心とともに、一時茨城県北茨城市五浦で研鑽を積んだ横山大観、菱田春草らの日本画家による「五浦の作家」、牛久沼畔に住んだ日本画家「小川芋銭」、大正期の洋画界に旋風を起こした洋画家「中村彝」というように、茨城に関係する近代作家の三つのコーナーを軸として、日本の近代洋画、日本画、彫刻等を紹介するとともに、茨城の作家を順次展示し、日本の近代美術、茨城の美術を立体的に紹介した。また、国民文化祭開催期間中は、第1室・第2室の2部屋を用いて「近代茨城美の精華 — 茨城の近現代美術展」と冠し、茨城県にゆかりの深い作家の作品を展示した。

### ●茨城の作家と日本の近代美術 1期 平成20年5月28日(水)～7月27日(日)

NO.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	寸法(縦×横×高さ)cm	備考
<b>〈日本画〉</b>							
1	奥原 晴湖	1837-1913	山水之図	明治10年(1877)	絹本・墨画・軸装	152.3×86.2	
2	津島 寿山	1864-1923	山水図	明治26年(1893)	紙本・淡彩・軸装	175×87	
3	横山 大観	1868-1958	四方竹	大正14年(1925)	絹本・墨画・軸装	124.3×41.6	
4	小川 芋銭	1868-1938	肉案	大正6年(1917)	紙本・墨画・軸装	137×64	
5	小川 芋銭		月輪穿沼	大正14年(1925)	紙本・墨画・軸装	59.5×91.5	
6	小川 芋銭		河伯(親子)	昭和6年頃(c.1931)	紙本・墨画・軸装	40.8×59	
7	小川 芋銭		水村七夕	昭和10年頃(c.1935)	紙本・淡彩・軸装	137×33	
8	小川 芋銭		採蓴	昭和11年頃(c.1936)	紙本・淡彩・軸装	46×53.3	
9	小川 芋銭		ちさつんで	昭和12年(1937)	紙本・淡彩・軸装	45.7×59.8	
10	下村 観山	1873-1930	驟雨	明治41年頃(c.1908)	絹本・彩色・軸装	69.5×41	
11	保尊 良湖	1896-1953	壁仏	昭和13年(1938)	紙本・彩色・屏風 (二曲一双)	各172×198	山崎敬子氏 寄贈
12	小林 巢居人	1897-1978	岩	昭和15年(1940)	紙本・彩色・屏風 (二曲三隻)	各177.4×207.4	
13	西村 昭二郎	1927-1999	えぼしこくじゃく	昭和42年(1967)	紙本・彩色・屏風 (四曲一隻)	137×219	西村淑子氏 寄贈
<b>〈洋画〉</b>							
14	辻 永	1884-1974	夾竹桃と山羊	大正2年(1913)	油彩・麻布・額装	81×81	

NO.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (縦×横×高さ) cm	備考
15	中村 彝	1887-1924	花	大正12年(1923)	油彩・麻布・額装	58.8×47.7	
16	鈴木 清一	1895-1979	赤い本	大正11年(1922)	油彩・麻布・額装	115×115	
17	三橋 兄弟治	1911-1996	山うどの花のある静物	昭和28年(1953)	水彩・紙・額装	75.5×116.5	作者寄贈
<b>〈西洋絵画〉</b>							
18	ピサロ, カミーユ	1830-1903	グラット=コックの丘 からの眺め, ポントワーズ	1878年	油彩・麻布・額装	55×65	(株)常陽銀 寄贈
19	ピサロ, カミーユ		農家の娘	1892年	パステル・紙・額装	63×52	
20	モネ, クロード	1840-1926	ポール=ドモワの洞窟	1886年	油彩・麻布・額装	65×83	
21	シニャック, ポール	1863-1935	ロッテルダム	1906年	水彩・紙・額装	26×41	
<b>新収蔵作品</b>							
<b>〈版画・照沼毅陽氏寄贈 (260点のうち)〉</b>							
22	清宮 質文	1917-1991	葦	昭和33年(1958)	木版・紙	22.6×18.5	
23	清宮 質文		キリコ	昭和34年(1959)	木版・紙	22.2×27.4	
24	清宮 質文		コップの中の人形	昭和40年(1965)	木版・紙	21.5×22.5	
25	清宮 質文		九月の海辺	昭和45年(1970)	木版・紙	13.4×23.2	
26	清宮 質文		暗い夕日2 〈冬〉	昭和47年(1972)	木版・紙	23×21.8	
27	清宮 質文		深夜の蠟燭	昭和49年(1974)	木版・紙	17.8×15	
28	清宮 質文		パンドラの箱	昭和52年(1977)	木版・紙	11.5×18.5	
29	清宮 質文		夕日と猫 I	昭和54年(1979)	木版・紙	20×17.5	
30	清宮 質文		行手の花火	昭和56年(1981)	木版・紙	25.8×16.9	
31	清宮 質文		山上の湖	昭和56年(1981)	木版・紙	19.2×26	
32	清宮 質文		秋の静物	昭和60年(1985)	木版・紙	15×12	
33	浜田 知明	1917-	風景	昭和28年(1953)	エッチング・紙	36.2×29.8	
34	浜田 知明		刑場(A)	昭和29年(1954)	エッチング, アクアチント・紙	24.7×19	
35	浜田 知明		副校長D氏像	昭和31年(1956)	エッチング, アクアチント・紙	21.6×14.6	
36	浜田 知明		愛の歌	昭和32年(1957)	エッチング・紙	20×19.5	
37	秀島 由己男	1934-	霊歌 〈ベトナム〉	昭和46年(1971)	メゾチント・紙	23×16.3	
38	秀島 由己男		花子のコレクション	昭和54年(1979)	メゾチント・紙	40.8×31.7	
39	秀島 由己男		真夜中の静物	昭和57年(1982)	エッチング, アクアチント・紙	17.8×14.6	
40	秀島 由己男		霊歌A	平成元年(1989)	エッチング, アクアチント・紙	29×36.4	
<b>〈彫刻・中山恒明氏寄贈〉</b>							
41	木内 克	1892-1977	手を上げた女	昭和26年(1951)	ブロンズ	66×29.4×30	
42	木内 克		坐裸婦	昭和34年(1959)	ブロンズ	107×72.5×71	
43	木内 克		裸婦立像	昭和38年(1963)	ブロンズ	180.7×54×58.5	
<b>〈第12回天心記念茨城賞受賞作品〉</b>							
44	井手 康人	1962-	奏園	平成18年(2006)	紙本・彩色・額装	221×175.5	作者より茨 城県に寄贈

●茨城の作家と日本の近代美術 2期 平成20年7月30日(水)~9月23日(火・祝)

NO.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (縦×横×高さ) cm	備考
<b>〈五浦の作家〉</b>							
1	横山 大観	1868-1958	月明	昭和6年頃(c. 1931)	絹本・彩色・軸装	136.6×41.7	
2	下村 観山	1873-1930	納涼図	明治42年頃(c. 1909)	絹本・彩色・軸装	84×50	
3	菱田 春草	1874-1911	柴舟	明治33年(1900)	絹本・彩色・軸装	116.2×50.1	
4	木村 武山	1876-1942	日月秋冬	大正期(c. 1912-26)	絹本・彩色・軸装(対幅)	各129×40.1	榎座一臣氏 寄贈
<b>〈小川芋銭〉</b>							
5	小川 芋銭	1868-1938	糸瓜と狗子	明治43年頃(c. 1910)	紙本・淡彩・軸装	129×40	No. 6, 7と 三幅対

NO.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	寸法 縦×横×高さ cm	備考
6	小川 芋銭	1868-1938	雷神	明治43年頃(c.1910)	紙本・淡彩・軸装	129×40	
7	小川 芋銭		長茄子と雛	明治43年頃(c.1910)	紙本・淡彩・軸装	129×40	
8	小川 芋銭		抱甕大痴	昭和4年頃(1929)	紙本・墨画・淡彩・軸装	83.3×44.1	寄託
9	小川 芋銭		霞ヶ浦	昭和10年(1935)	紙本・墨画・軸装	78×114.3	
10	小川 芋銭		〈白藤原太〉河童百図	昭和12年(1937)	紙本・淡彩・軸装	59.5×59.5	
11	小川 芋銭		〈三味線のいこ〉河童百図	昭和12年(1937)	紙本・淡彩・軸装	34×65	
<b>〈近代日本画〉</b>							
12	川合 玉堂	1873-1957	漁村早春, 秋溪帰駄	大正2年頃(c.1913)	絹本・彩色・軸装(対幅)	各136×55.8	
13	西山 翠嶂	1879-1958	飛魚	明治末期(c.1907-12)	絹本・彩色・軸装	66.5×83.4	
14	今村 紫紅	1880-1916	海辺図	明治44年頃(c.1911)	絹本・彩色・軸装	96.3×35.6	
15	近藤 浩一路	1884-1962	古里	大正期(c.1912-26)	紙本・墨画・屏風 (六曲一双)	各149×294	
16	酒井 三良	1897-1969	海	昭和27年(1952)	紙本・墨画・額装	93×123	伊藤興太郎氏寄贈
<b>〈中村彝〉</b>							
17	中村 彝	1887-1924	自画像	明治42年頃(c.1909)	油彩・キャンバスボード	32×22.5	菊池五郎氏寄贈
18	中村 彝		大島風景	大正4年(1915)	油彩・麻布	22.5×32	
19	中村 彝		裸体	大正5年(1916)	油彩・麻布	99.8×80.5	
20	中村 彝		男の顔	大正9年(1920)	油彩・麻布	45.5×38	
21	中村 彝		大島風景	大正4年(1915)	インク・紙	14.5×19.9	
22	中村 彝		自画像	大正11年(1922)	木炭・紙	29×24.5	
<b>〈茨城の洋画〉</b>							
23	辻 永	1884-1974	須磨の朝	昭和31年(1956)	油彩・麻布	72×90	
24	栗原 信	1894-1966	ユーカリ並木(ビルマ)	昭和29年(1954)	油彩・麻布	116×72	栗原ヤヘ氏寄贈
25	安藤 信哉	1897-1983	静物	昭和47年(1972)	油彩・麻布	130×130	安藤いそ氏寄贈
26	鈴木 良三	1898-1996	落合の小川	大正11年(1922)	油彩・麻布	73×91	作者寄贈
27	服部 正一郎	1907-1995	あざみ	昭和7年(1932)	油彩・麻布	91.1×72.8	服部美代氏寄贈
<b>〈近代の洋画〉</b>							
28	牧野 虎雄	1890-1946	向日葵	昭和4年頃(c.1929)	油彩・麻布	73×60.5	
29	岸田 劉生	1891-1929	窓外夏景	大正10年(1921)	油彩・麻布	38×45.5	
30	三岸 好太郎	1903-1934	花	昭和8年(1933)	油彩・麻布	79×63	
<b>〈西洋絵画〉</b>							
31	ピサロ, カミーユ	1830-1903	グラット=コックの丘からの眺め, ポントワーズ	1878年	油彩・麻布	55×65	(株)常陽銀行寄贈
32	シスレー, アルフレッド	1839-1899	葦の川辺一夕日	1890年	油彩・麻布	54×73	
33	モネ, クロード	1840-1926	ポール=ドモワの洞窟	1886年	油彩・麻布	65×83	
<b>〈立体〉</b>							
34	土谷 武	1926-2004	虫II	昭和44年(1969)	木(梨)	9×47.5×44.5	作者寄贈
35	土谷 武		蟬IV-b	昭和57年(1982)	コルテン鋼	12×47.5×29	作者寄贈
36	河口 龍夫	1940-	関係-植物・蓮の時d-	平成4年(1992)	鉛・蓮・板	170×80×5	
37	河口 龍夫		関係-植物・蓮の時e-	平成4年(1992)	鉛・蓮・板	169.9×80×5	
38	河口 龍夫		関係-植物・蓮の時f-	平成4年(1992)	鉛・蓮・板	170×80×5	

●茨城の近現代美術展—近代茨城の美の精華— 平成20年11月1日(土)~12月14日(日)

第1常設展示室

NO.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	寸法 縦×横×高さ cm	備考
<b>〈五浦の作家〉</b>							
1	横山 大観	1868-1958	瀟湘八景 〈遠浦雲帆〉	大正2~3年頃(c.1913-14)	絹本・彩色・軸装	131×50.3	No.1~8で八幅対
2	横山 大観		瀟湘八景 〈山市晴嵐〉	大正2~3年頃(c.1913-14)	絹本・彩色・軸装	131×50.3	
3	横山 大観		瀟湘八景 〈瀟湘夜雨〉	大正2~3年頃(c.1913-14)	絹本・彩色・軸装	131×50.3	

NO.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	寸法 縦×横×高さ cm	備考
4	横山 大観		瀟湘八景〈烟寺晚鐘〉	大正2~3年頃(c. 1913-14)	絹本・彩色・軸装	131×50.3	
5	横山 大観		瀟湘八景〈漁村返照〉	大正2~3年頃(c. 1913-14)	絹本・彩色・軸装	131×50.3	
6	横山 大観		瀟湘八景〈平沙落雁〉	大正2~3年頃(c. 1913-14)	絹本・彩色・軸装	131×50.3	
7	横山 大観		瀟湘八景〈洞庭秋月〉	大正2~3年頃(c. 1913-14)	絹本・彩色・軸装	131×50.3	
8	横山 大観		瀟湘八景〈江天暮雪〉	大正2~3年頃(c. 1913-14)	絹本・彩色・軸装	131×50.3	
9	木村 武山	1876-1942	菅公太宰府配處之図	明治36~39年頃(c. 1903-06)	絹本・彩色・軸装	110.6×41.2	
<b>〈小川芋銭〉</b>							
10	小川 芋銭	1868-1938	雲に座せる寒公	大正7年(1918)	絹本・彩色・軸装	134.9×50.5	寄託
11	小川 芋銭		千金方著述	大正15年(1926)	絹本・彩色・軸装	127.1×41	
12	小川 芋銭		河伯言	昭和10年頃(c. 1935)	紙本・墨画・軸装	39.7×47.5	
13	小川 芋銭		翁面	昭和12年(1937)	絹本・淡彩・軸装	44.8×53.4	
14	小川 芋銭		待鷄鳴	昭和12年頃(c. 1937)	絹本・淡彩・軸装	141.5×42	
15	小川 芋銭		筑波春雲	昭和12年頃(c. 1937)	紙本・淡彩・軸装	46.5×60.7	
16	小川 芋銭		水国寒	昭和12年頃(c. 1937)	紙本・淡彩・軸装	46.5×57.2	
<b>〈日本画〉</b>							
17	河鍋 曉斎	1831-1889	恵比寿大黒豆撒図	明治9年(1876)	絹本・彩色・軸装	44.5×72.3	寄託
18	奥原 晴湖	1837-1913	山水図	明治11年(1878)	絹本・淡彩・軸装	152.3×65.9	
19	松本 楓湖	1840-1923	石橋山之図	大正6年(1917)	絹本・彩色・軸装	70×143.2	寄託
20	永田 春水	1889-1970	萬年孔雀図	昭和12年頃(c. 1937)	絹本・金地・彩色 ・屏風(二曲一双)	各171×172	
21	小林 巢居人	1897-1978	水辺夏	昭和35年(1960)	絹本・彩色・額装	130×114.5	寄託
22	浦田 正夫	1910-1997	磯	昭和32年(1957)	紙本・彩色・額装	161×121	作者寄贈
23	加倉井 和夫	1919-1995	仙苔	昭和62年(1987)	紙本・彩色・額装	145×200	寄託
<b>〈中村彝〉</b>							
24	中村 彝	1887-1924	自画像	明治42年頃(c. 1909)	油彩・キャンバスボード・額装	32×22.5	菊池五郎氏寄贈
25	中村 彝		静物	大正2~3年(1913-14)	油彩・麻布・額装	37.9×45.5	
26	中村 彝		静物	大正5年(1916)	油彩・麻布・額装	42×52	
27	中村 彝		裸体	大正5年(1916)	油彩・麻布・額装	99.8×80.5	
28	中村 彝		静物	大正8年(1919)	油彩・板・額装	31.8×39.4	
29	中村 彝		目白の冬	大正8年(1919)	油彩・麻布・額装	45.5×60.6	
30	中村 彝		男の顔	大正9年(1920)	油彩・麻布・額装	45.5×38	
31	中村 彝		カルピスの包み紙のある静物	大正12年(1923)	油彩・麻布・額装	60.7×50.2	升本喜三郎氏寄贈
<b>〈油彩画〉</b>							
32	辻 永	1884-1974	夾竹桃と山羊	大正2年(1913)	油彩・麻布・額装	81×81	
33	熊岡 美彦	1889-1944	緑衣	大正14年(1925)	油彩・麻布・額装	112.1×146.5	
34	栗原 信	1894-1966	小川	昭和5年(1930)	油彩・麻布・額装	72×99	
35	鈴木 良三	1898-1996	グラス風景	昭和6年(1931)	油彩・麻布・額装	130×162	作者寄贈
36	服部 正一郎	1907-1995	浴衣像	昭和12年(1937)	油彩・麻布・額装	162.4×112.2	服部美代氏寄贈
<b>〈彫刻〉</b>							
37	後藤 清一	1893-1984	双樹	昭和35年(1960)	ブロンズ	68×46×29	
38	小森 邦夫	1917-1993	青春譜	昭和59年(1984)	ブロンズ	176×65×40	
39	能島 征二	1941-	悠久の時	平成12年(2000)	ブロンズ	108×43×67.5	
<b>〈西洋絵画〉</b>							
40	クールベ, ギュスターヴ	1819-1877	フランシュ=コンテの谷 オルナン付近	1865年頃	油彩・麻布・額装	60×91	
41	シスレー, アルフレッド	1839-1899	葦の川辺一夕日	1890年	油彩・麻布・額装	54×73	
42	モネ, クロード	1840-1926	ポール=ドモワの洞窟	1886年	油彩・麻布・額装	65×83	
43	ルノワール, オーギュスト	1841-1919	マドモワゼル・フランソワ	1917年	油彩・麻布・額装	52×42	

第2常設展示室

NO.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	寸法 縦×横×高さ cm	備考
<b>〈油彩画〉</b>							
1	安藤 信哉	1897-1983	曠野	昭和30年(1955)	油彩・麻布・額装	130×145	安藤いそ氏寄贈
2	稲田 三郎	1902-1970	海の静物	昭和25年(1950)	油彩・麻布・額装	89×130	稲田ハル氏寄贈
3	森田 茂	1907-	黒川能 春の舞	平成2年(1990)	油彩・麻布・額装	162×130.6	田中忍氏寄贈
4	榎戸 庄衛	1908-1994	原始 (41)	昭和37年(1962)	油彩・麻布・額装	185×185	作者寄贈
5	鶴岡 義雄	1917-2007	パラソルの女	昭和23年(1948)	油彩・麻布・額装	192×128.3	
6	村山 密	1918-	室内	昭和27年(1952)	油彩・麻布・額装	116.7×90.9	
7	西田 亨	1920-	霧氷の朝	昭和50年(1975)	油彩・麻布・額装	162×130	
8	利根山 光人	1921-1994	ビバ・メヒコ	昭和55年(1980)	油彩・麻布・額装	132×195	
9	田中 良	1923-	海へ	平成7年(1995)	油彩・麻布・額装	162.1×130.3	作者寄贈
10	益子 昭雄	1927-1989	造船所	昭和39年(1964)	油彩・麻布・額装	135.7×196.1	作者寄贈
11	山本 文彦	1937-	休息の時II	昭和56年(1981)	油彩・麻布・額装	130×162	
12	玉川 信一	1954-	二人居る風景	昭和59年(1984)	油彩・麻布・額装	162.1×162.1	作者寄贈
<b>〈水彩画〉</b>							
13	小堀 進	1904-1975	山麓	昭和48年(1973)	水彩・紙・額装	95×143	寄託作品
14	柳田 昭	1948-	ある終焉	平成5年(1993)	グワッシュ・紙・額装	112×194	作者寄贈
<b>〈版画〉</b>							
15	永瀬 義郎	1891-1978	サーカス	昭和13年(1938)	雑版・紙・額装	30.7×22.8	恩地のぶ氏寄贈
16	飯野 農夫也	1913-	長塚節肖像	昭和53年(1978)	木版・紙・額装	57×46.3	作者寄贈
17	巖 嘸	1931-	グッドバイ・ ムッシュー・ゴーギャン	昭和48年(1973)	シルクスクリーン・紙 ・屏風 (四曲一隻)	143×214	
18	吉田 勝彦	1947-	新開地F埠頭 (夕立前)	昭和59年(1984)	メゾチント・紙・額装	22×37	
19	栗田 政裕	1952-	聖アントワーヌの誘惑III	昭和57年(1982)	木口木版・紙・額装	34×43	
<b>〈彫刻〉</b>							
20	木内 克	1892-1977	女	昭和31年(1956)	テラコッタ	85.5×34.5×46	
21	一色 邦彦	1935-	津舞	昭和40年(1965)	ブロンズ	78.7×65.5×38.9	
22	田中 信太郎	1940-	ディスタンスシリーズ 門 No. 1 ・ 弧	昭和51年(1976)	ステンレススティール ・石	195.5h×3×3 (門 No. 1) 49.5×34.5×7.9 (弧)	

●茨城の作家と日本の近代美術 3期 平成20年12月17日(水)～2月15日(日)

NO.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	寸法 縦×横×高さ cm	備考
<b>〈五浦の作家〉</b>							
1	横山 大観	1868-1958	海上遠雲	昭和11年頃(c. 1936)	絹本・彩色・軸装	130×42	
2	菱田 春草	1874-1911	松籟 (岡倉天心五浦旧宅 書斎小襖絵試作)	明治38年(1905)	紙本・墨画金泥・軸装	173×90	黒澤順三氏 寄贈
3	木村 武山	1876-1942	英姿	昭和10年(1935)	絹本・彩色・軸装	195.5×104.5	
<b>〈小川芋銭〉</b>							
4	小川 芋銭	1868-1938	江村楽民	昭和9年(1934)	紙本・淡彩・軸装	128×32.5	
5	小川 芋銭		一陽来復	昭和11年頃(c. 1936)	紙本・淡彩・軸装・扇面	19.5×52	
6	小川 芋銭		無用大用	昭和11年頃(c. 1936)	紙本・淡彩・軸装	158.5×38.8	
7	小川 芋銭		河童百図 〈岩になった河童〉	昭和12年(1937)	紙本・墨画・軸装	59.9×60	
8	小川 芋銭		虎溪三笑	昭和12年(1937)	紙本・淡彩・軸装	148×45.3	
9	小川 芋銭		寿老	昭和12年(1937)	紙本・淡彩・軸装	21×53.5	
<b>〈茨城の日本画家〉</b>							
10	奥原 晴湖	1837-1913	西園雅集図	明治13年(1880)	紙本・淡彩・軸装	132.7×56.7	
11	松本 楓湖	1840-1923	海上朝陽, 松竹梅	大正4年(1915)	絹本・彩色・軸装 (三幅対)	各 116.7×35	大澤弥太郎氏 寄贈
<b>〈近代日本画〉</b>							
12	小杉 放菴	1881-1964	老子	昭和30年代(c. 1955-64)	紙本・墨画・淡彩・軸装	45.6×51.3	
13	小野 竹喬	1889-1979	武陵桃源	大正7年頃(c. 1918)	絹本・彩色・屏風 (六曲一双)	各 164×373.5	

NO.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	寸法 縦×横×高さ cm	備考
14	小茂田 青樹	1891-1933	山茶花	昭和6年頃(c. 1931)	紙本・彩色・軸装	112.2×31.7	
15	小林 巢居人	1897-1978	溪水	昭和32年(1957)	絹本・彩色・額装	148.3×117.5	
16	浦田 正夫	1910-1997	牛	昭和27年(1952)	絹本・彩色・額装	212×227	作者寄贈
17	浦田 正夫		牛小下図(1)~(8)	昭和27年(1952)	鉛筆・パステル・紙		作者寄贈
18	吉田 善彦	1912-2001	浅間月明	昭和53年(1978)	紙本・彩色・額装	162.1×130.3	寄託
<b>〈中村彝〉</b>							
19	中村 彝	1887-1924	木立風景	明治42年(1909)	油彩・麻布・額装	43×59	
20	中村 彝		大島風景	大正4年(1915)	油彩・麻布・額装	22.5×32	
21	中村 彝		静物	大正5年(1916)	油彩・麻布・額装	42×52	
22	中村 彝		雉子の静物	大正8年(1919)	油彩・麻布・額装	57.5×49.5	
23	中村 彝		目白の冬	大正8年(1919)	油彩・麻布・額装	45.5×60.6	
24	中村 彝		目白の冬	大正8~9年頃 (c. 1919-20)	赤チョーク・紙	47.5×62.7	山田喜一氏 寄贈
<b>〈日本の洋画〉</b>							
25	国吉 康雄	1889-1953	二頭の牛	大正11年(1922)	油彩・麻布・額装	51×41	
26	青山 義雄	1894-1996	赤い雌牛	大正14年(1925)	油彩・カルトン・額装	47.4×73	
27	岡 鹿之助	1898-1978	観測所(信号台)	大正15年(1926)	油彩・麻布・額装	46×55	
28	三岸 節子	1905-1999	エッフェル塔	昭和60年(1985)	油彩・麻布・額装	110×110	
29	山口 薫	1907-1968	カッシス風景	昭和8年(1933)	油彩・麻布・額装	65.1×80.3	
30	木村 忠太	1917-1987	プロヴァンス地方の家	昭和62年(1987)	油彩・麻布・額装	130×162	
<b>〈ガラス〉</b>							
31	岩田 藤七	1893-1980	金彩三筋茶碗	昭和48年(1973)	ガラス	9.5×13.5×13.5	寄贈
32	岩田 久利	1925-1994	硝子大鉢牡丹	昭和61年(1986)	ガラス	20×47×47	寄贈
33	岩田 久利		黒窯泡扁壺	平成3年(1991)	ガラス	54.5×*37×*16	寄贈
<b>〈西洋美術〉</b>							
34	クールベ, ギュスターヴ	1819-1877	フランシュ=コンテの谷, オルナン付近	1865年頃	油彩・麻布・額装	60×91	
35	シスレー, アルフレッド	1839-1899	葦の川辺-夕日	1890年	油彩・麻布・額装	54×73	
36	モネ, クロード	1840-1926	ポール=ドモワの洞窟	1886年	油彩・麻布・額装	65×83	
37	ルノワール, オーギュスト	1841-1919	マドモワゼル・ フランソワ	1917年	油彩・麻布・額装	52×42	
38	カリエール, ウジェーヌ	1849-1906	オーギュスト・ロダン	1897年	リトグラフ・紙	53.1×34.5	志村巖氏寄贈
39	カリエール, ウジェーヌ		「習作」または「絵画」	1899年頃	油彩・麻布・額装	103.5×162.1	志村巖氏寄贈
40	カリエール, ウジェーヌ		肘をつく女	不詳	油彩・麻布・額装	44.6×36.5	志村巖氏寄贈

●茨城の作家と日本の近代美術 4期 平成21年2月18日(水)~4月12日(日)

NO.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	寸法 縦×横×高さ cm	備考
<b>〈茨城の日本画家〉</b>							
1	松本 楓湖	1840-1923	十二ヶ月図(白箸翁 二月)	大正期(c. 1912-26)	絹本・彩色・軸装	119×49	12幅対のうち
2	松本 楓湖		十二ヶ月図(さくら 三月)	大正期(c. 1912-26)	絹本・彩色・軸装	119×49	12幅対のうち
3	松本 楓湖		十二ヶ月図(鯉 四月)	大正期(c. 1912-26)	絹本・彩色・軸装	119×49	12幅対のうち
<b>〈五浦の作家〉</b>							
4	横山 大観	1868-1958	煙嵐	昭和27年(1952)	絹本・墨画淡彩・軸装	49.8×57.5	寄託
5	菱田 春草	1874-1911	帰漁	明治37年(1904)	絹本・彩色・額装	49×73	
6	木村 武山	1876-1942	小楠公	明治36年頃(c. 1903)	紙本・彩色・軸装	140.3×64.8	
<b>〈小川芋銭〉</b>							
7	小川 芋銭	1868-1938	止水	昭和4年(1929)	紙本・墨画・軸装	78.2×110.2	
8	小川 芋銭		雲樹浄麗	昭和8年(1933)	紙本・淡彩・軸装	134×43.9	
9	小川 芋銭		河童	昭和11年(1936)	紙本・墨画・軸装	36×29	

NO.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	寸法 縦×横×高さ cm	備考
10	小川 芋銭	1868-1938	野狐	昭和11年頃(c.1936)	紙本・淡彩・軸装・扇面	18.1×51.7	
11	小川 芋銭		時雨	昭和12年(1937)	紙本・淡彩・軸装	44.8×61.1	結城四郎氏 寄贈
<b>〈近代日本画〉</b>							
12	今村 紫紅	1880-1916	林中達磨	大正初期(c.1912-16)	紙本・淡彩・軸装	57.3×41.5	
13	前田 青邨	1885-1977	江島詣	昭和10-12年頃(c.1935-37)	絹本・彩色・軸装	140×52	
14	速水 御舟	1894-1935	柿	昭和8年(1933)	紙本・彩色・額装	41.8×30	
15	速水 御舟		南京軍鶏	昭和8年(1933)	紙本・彩色・額装	34×22.5	
16	速水 御舟		桐の実	昭和9年(1934)	紙本・彩色・額装	22.7×35.3	
17	速水 御舟		百舌	昭和9年(1934)	紙本・彩色・額装	22.8×36.5	
18	羽石 光志	1903-1988	閑日	昭和21年(1946)	紙本・彩色・ 観音開き屏風	162×230	寄託
19	森田 曠平	1916-1994	八丈のめならべ達	昭和34年(1959)	紙本・彩色・屏風 (四曲一隻)	175.9×305.7	森田貞子氏 寄贈
20	森田 曠平		飛火野	平成3年(1991)	紙本・彩色・額装	91×121.3	寄託
<b>〈中村彝〉</b>							
21	中村 彝	1887-1924	裸婦習作	明治41年(1908)	油彩・麻布・額装	80×61	
22	中村 彝		自画像	明治42年頃(c.1909)	油彩・キャンバスボード ・額装	32×22.5	菊池五郎氏 寄贈
23	中村 彝		裸体	大正5年(1916)	油彩・麻布・額装	99.8×80.5	
24	中村 彝		男の顔	大正9年(1920)	油彩・麻布・額装	45.5×38	
25	中村 彝		老母像習作	大正13年(1924)	油彩・キャンバスボ ード・額装	22.1×14.9	岡崎興氏寄 贈
<b>〈茨城の洋画家〉</b>							
26	熊岡 美彦	1889-1944	山の娘	昭和16年(1941)	油彩・麻布・額装	116.7×91	長谷川仁氏 寄贈
27	鈴木 良三	1898-1996	あみもの	昭和5年頃(c.1930)	油彩・麻布・額装	116×80.5	作者寄贈
28	服部 正一郎	1907-1995	浴衣像	昭和12年(1937)	油彩・麻布・額装	162.4×112.2	服部美代氏 寄贈
29	森田 茂	1907-2009	舞妓坐る	昭和36年(1961)	油彩・麻布・額装	145.5×96.5	
30	堀越 隆次	1916-1984	とりとひと(A)	昭和41年(1966)	油彩・麻布・額装	162×112	堀越今子氏 寄贈
31	小又 光	1919-1978	踊る	昭和24年(1949)	油彩・麻布・額装	117×91	
<b>〈西洋絵画〉</b>							
32	クールベ, ギュスターヴ	1819-1877	フランシュ=コンテ の谷, オルナン付近	1865年頃	油彩・麻布・額装	60×91	
33	ピサロ, カミーユ	1830-1903	グラット=コックの丘 からの眺め, ポントワーズ	1878年	油彩・麻布・額装	55×65	(株)常陽銀行 寄贈
34	マネ, エドゥアール	1832-1883	白菊の囀	1881年	油彩・紙・額装	17×59	
35	シスレー, アルフレッド	1839-1899	葦の川辺-夕日	1890年	油彩・麻布・額装	54×73	
36	モネ, クロード	1840-1926	ポール=ドモワの洞窟	1886年	油彩・麻布・額装	65×83	
37	ルノワール, オーギュスト	1841-1919	マドモワゼル= フランソワ	1917年	油彩・麻布・額装	52×42	
<b>〈茨城の彫刻家〉</b>							
38	木内 克	1892-1977	足をあげる女	昭和24年(1949)	ブロンズ	65×54×32	田中正氏寄贈
39	山崎 猛	1930-1998	チェーラの女	平成3年(1991)	蝋型ブロンズ	90×50×50	

## 第2常設展示室

### 特別展示

#### ●「木村武山 杉戸絵展」 平成20年5月28日(水)~7月27日(日)

大正時代に船舶事業で巨万の富を築いた、旧麻生町出身の内田信也の兵庫県神戸市須磨の邸宅のために、木村武山が制作した杉戸絵25枚44面を一堂に展示した。杉戸絵は、阪神淡路大震災の際に幸運にも損傷を免れ、平成13年に当館に寄託されたものである。公開のたびに大きな反響を呼び、今回で8回目の展示となった。

#### ●展示作品

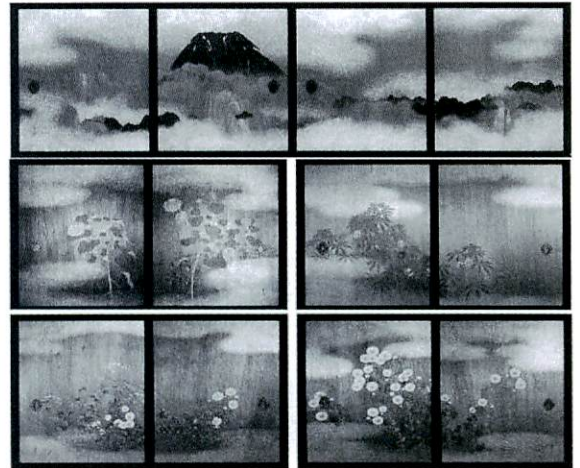
制作年 大正7年頃(c.1918) / 材質 杉戸に彩色

彩色杉戸絵25枚(うち19枚は両面)全44面

「松図」8面、「富岳図」4面、「紅梅図」2面、「桐図」1面、

「日の出図」2面、「四季草花図」22面(11件)、

「柏に笹」4面(2件)、「笹に流水」1面



#### ●「二世 五姓田芳柳展」 平成20年7月30日(水)~9月23日(火・祝)

茨城県坂東市(旧猿島郡猿島町)出身の二世五姓田芳柳は、明治期における油彩画の先駆者の一人。日本画と洋画との境界があいまいであったこの頃、材質・形状・表現において折衷的な作品が誕生したが、二世芳柳も様々なタイプの作品を手がけている。企画展「明治の洋画」にちなみ、多彩な活躍をした彼の油彩画、水彩画、日本画、そして「聖徳記念絵画館壁画考証図下絵」のうち22図を、特集して紹介した。

NO.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (縦×横×高さ) cm	備考
<b>〈油彩画〉</b>							
1	五姓田 義松	1855-1915	朝陽の富士	明治36~38年頃 (c.1903-05)	油彩・麻布	73.7×98.5	
2	五姓田 義松		桑原信毅像	明治20年(1887)	油彩・麻布	42.3×40	寄託
3	二世五姓田芳柳	1864-1943	勿来海濱	昭和4年(1929)	油彩・麻布	52×71	管理換
<b>〈日本画〉</b>							
4	二世五姓田芳柳	1864-1943	源義家	不詳	紙本・彩色・軸装	136.7×34.3	五姓田君代氏寄贈
5			山高水長	不詳	紙本・彩色・軸装	134.7×46	五姓田君代氏寄贈
6			山中鹿介	不詳	紙本・彩色・軸装	149.4×40.3	五姓田君代氏寄贈
7			真鶴沖	不詳	紙本・彩色・軸装	136.5×69	五姓田君代氏寄贈
8			新田義貞・稲村ケ崎	不詳	紙本・彩色・軸装	136.7×67.4	五姓田君代氏寄贈
9			炭出し	不詳	紙本・彩色・軸装	137.5×24	五姓田君代氏寄贈
10			畑時能軍犬	不詳	紙本・彩色・軸装	137.9×36	五姓田君代氏寄贈
<b>〈素描〉</b>							
11	二世五姓田芳柳	1864-1943	すずき	不詳	水彩・紙	8.5×30.5	五姓田君代氏寄贈
12			かながしら	不詳	水彩・紙	10.3×30.4	五姓田君代氏寄贈
13			はなだい	不詳	水彩・紙	12.7×24.7	五姓田君代氏寄贈
14			ほうぼう	不詳	水彩・紙	12.7×32.5	五姓田君代氏寄贈
15			パイナップル	不詳	水彩・紙	28.3×18.5	五姓田君代氏寄贈
16			花スケッチ	不詳	鉛筆・紙	24.7×15.3	五姓田君代氏寄贈
17			錦鶏鳥(雌)	不詳	水彩・紙	14.2×25	五姓田君代氏寄贈
18			錦鶏鳥(雄)	不詳	水彩・紙	19.1×25	五姓田君代氏寄贈
19			上野表慶館	不詳	水彩・紙	18.2×26.6	五姓田君代氏寄贈
20			赤坂御苑御馬場	不詳	水彩・紙	18.1×26.8	五姓田君代氏寄贈
21			筑波	不詳	水彩・紙	18.1×27.2	五姓田君代氏寄贈



NO.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	寸法(縦×横×高さ) cm	備考
22	二世五姓田芳柳	1864-1943	筑波下 北條町	不詳	水彩・紙	18.1×27.2	五姓田君代氏寄贈
23			婦人像	不詳	水彩・紙	18.2×14.1	五姓田君代氏寄贈
24			武者図	不詳	水彩・紙	28.3×18.5	五姓田君代氏寄贈
25			風景	不詳	水彩・紙	18.5×28.3	五姓田君代氏寄贈

〈資料〉

26	二世五姓田芳柳	1864-1943	聖徳記念絵画館壁画 考証図下絵より	大正7~10年 (1918-1921)	水彩・紙		菱田通恵氏寄贈
----	---------	-----------	----------------------	------------------------	------	--	---------

大政奉還二條城會同／御元服(その1)／御誓文御誓約／江戸開城談判の様子／即位礼／岩倉具視欧米派遣(文図)／京都及九州御巡幸 鹿児島湾御入港／小梅徳川邸行幸(その2)／小梅徳川邸行幸(その3)／熊本城(籠城及攻撃)／北海道屯田兵／條約改正會議(外務省)／岩倉邸行幸(その1)／憲法發布勸兵式行幸啓(その1)／憲法發布勸兵式行幸啓(その3)／海陸聯合大演習／黄海ノ戦／日露役旅順開城 水師營會見(その1)／旅順開城 水師營兩將會見(その4)／日本海々戦／ポーツマス講和談判／大葬 葬場殿

## ● 茨城の近現代美術展—近代茨城の美の精華— 平成20年11月1日(土)~12月14日(日)

国民文化祭開催を機に、当館所蔵作品の中から茨城県にゆかりの深い作家の作品を、第1室・第2室の2部屋を用いて展示したが、第2室では森田茂、小堀進、木内克などの戦後の作品を中心に紹介した。

※リストは第一常設展示室のリストとともに記載

## ● 「ドーミエ版画展」 平成20年12月17日(水)~平成21年2月15日(日)

オノレ・ヴィクトラン・ドーミエ(1808-1879)は、ジャーナリズムの台頭期にあった19世紀のフランスで、リトグラフによる数々の諷刺画を新聞に発表し、人気を博した。彼のリトグラフは4000点にもものぼるが、当館ではそのうち故志村巖氏から寄贈された600点あまりを所蔵している。企画展「大ナポレオン展」にちなみ、ナポレオン後のフランスを描いた彼のリトグラフ45点を、様々なテーマごとに紹介した。

NO.	シリーズ名	掲載紙	掲載年月日	LD番号	NO.	シリーズ名	掲載紙	掲載年月日	LD番号
<b>〈七月王政期の政治諷刺〉</b>					24	日々の出来事(アクチュアリテ) 14	シャリヴァリ	1850年10月21日	2037
1	大変結構、大変結構!...	カリカチュール	1834年11月6日	94	25	日々の出来事(アクチュアリテ) 95	シャリヴァリ	1851年3月28日	2091
2	政治諷刺135	シャリヴァリ	1833年11月14日	174	26	日々の出来事(アクチュアリテ) 179	シャリヴァリ	1851年8月15日	2133
3	国会開会式の国王の勅諭	シャリヴァリ	1834年8月17日	201	27	日々の出来事(アクチュアリテ) 248	シャリヴァリ	1851年11月13日	2166
<b>〈ロベール・マケール〉</b>					<b>〈パリの都市改造〉</b>				
4	カリカチュラーナ(ロベール・マケール) 49	シャリヴァリ	1837年5月26日	404	28	日々の出来事(アクチュアリテ) 47	シャリヴァリ	1850年12月26日	2049
5	カリカチュラーナ(ロベール・マケール) 74	シャリヴァリ	1838年2月19日	429	29	日々の出来事(アクチュアリテ) 54	シャリヴァリ	1852年12月7日	2275
6	カリカチュラーナ(ロベール・マケール) 75	シャリヴァリ	1838年3月6日	430	30	日々の出来事(アクチュアリテ) 59	シャリヴァリ	1852年12月27日	2277
<b>〈家族の情景〉</b>					31	パリのスケッチ15	シャリヴァリ	1856年11月26日	2814
7	表情のスケッチ25	シャリヴァリ	1838年8月28日	491	<b>〈第2帝政期の国際問題から〉</b>				
8	表情のスケッチ43	シャリヴァリ	1839年1月1-2日	511	32	日々の出来事(アクチュアリテ) 42	シャリヴァリ	1854年5月2日	2496
9	夫婦生活16	シャリヴァリ	1840年3月1日	639	33	日々の出来事(アクチュアリテ) 251	シャリヴァリ	1855年12月4日	2558
10	夫婦生活23	シャリヴァリ	1840年4月12日	646	<b>〈万国博覧会〉</b>				
11	夫婦生活43	シャリヴァリ	1842年4月8日	666	34	万国博覧会20	シャリヴァリ	1855年4-9月	2683
12	願いのすべて4	シャリヴァリ	1847年6月2日	1650	35	万国博覧会22	シャリヴァリ	1855年4-9月	2685
<b>〈パリっ子の暮らし〉</b>					36	万国博覧会29	シャリヴァリ	1855年4-9月	2692
13	パリの風来坊8	シャリヴァリ	1841年12月19日	829	37	万国博覧会31	シャリヴァリ	1855年4-9月	2694
14	パリの風来坊9	シャリヴァリ	1841年12月25日	830	<b>〈絵画さまざま〉</b>				
15	パリのお上りさん5	シャリヴァリ	1844年6月11日	1276	38	1840年のサロン	シャリヴァリ	1841年4月	795
16	善きブルジョワたち50	シャリヴァリ	1846年8月20日	1526	39	善きブルジョワたち51	シャリヴァリ	1846年8月27日	1527
<b>〈田園の愉しみ〉</b>					40	1859年の展覧会4	シャリヴァリ	1859年4月20日	3138
17	田園詩18	シャリヴァリ	1845年8月14日	1405	41	画家たち1	シャリヴァリ	1865年1月19日	3415
18	田園詩37	シャリヴァリ	1846年1月3日	1424	<b>〈鉄道での旅〉</b>				
19	田園詩42	シャリヴァリ	1846年3月9日	1429	42	鉄道16	シャリヴァリ	1844年3月22日	1058
20	田園詩46	シャリヴァリ	1846年3月24日	1433	43	慰安旅行の列車6	シャリヴァリ	1852年8月31日	2330
<b>〈第2共和政期の政治諷刺〉</b>					44	鉄道こて5	シャリヴァリ	1864年9月1日	3300
21	日々の出来事(アクチュアリテ) 6	シャリヴァリ	1849年9月5日	1905	45	鉄道こて6	シャリヴァリ	1864年9月3日	3301
22	日々の出来事(アクチュアリテ) 70	シャリヴァリ	1850年2月5日	1985					
23	日々の出来事(アクチュアリテ) 198	シャリヴァリ	1850年10月1日	2030					

## ● 「静物画展」 平成21年2月18日(水)～4月12日(日)

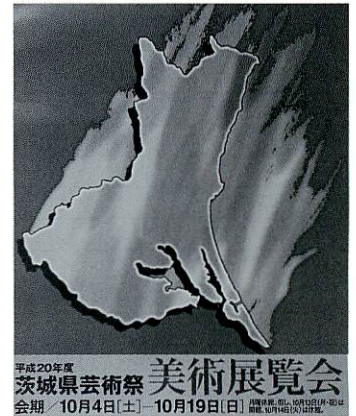
油彩画, 水彩画の中から静物画を特集展示。卓上の果物, 花瓶の花など身近なものを主題とした静物画に見られる多様な表現を通して, 作者の芸術観を探る機会とした。

NO.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (縦×横×高さ) cm	備考
1	斎藤 与里	1885-1959	花	昭和10年(1935)	油彩・麻布・額装	99.7×72.5	
2	中村 彝	1887-1924	静物	大正2年～3年(1913-14)	油彩・麻布・額装	37.9×45.5	
3	中村 彝		静物	大正5年(1916)	油彩・麻布・額装	42×52	
4	中村 彝		雉子の静物	大正8年(1919)	油彩・麻布・額装	57.5×49.5	
5	中村 彝		静物	大正8年(1919)	油彩・板・額装	31.8×39.4	
6	中村 彝		カルピスの包み紙のある静物	大正12年(1923)	油彩・麻布・額装	60.7×50.2	升本喜三郎氏寄贈
7	小出 樽重	1887-1931	毛糸の束	大正15年(1926)	油彩・麻布・額装	53×72.8	
8	安井 曾太郎	1888-1955	薔薇	大正13年(1924)	油彩・麻布・額装	54.9×46	
9	岸田 劉生	1891-1929	籠中脂香	大正12年(1923)	油彩・麻布・額装	32.1×33.5	
10	木村 莊八	1893-1958	静物	大正6年頃(c.1917)	油彩・麻布・額装	38×45.4	
11	中川 一政	1893-1991	静物	大正10年(1921)	油彩・麻布・額装	30×40	
12	古賀 春江	1895-1933	卓上静物	大正13年頃(c.1924)	油彩・麻布・額装	72.7×60.6	
13	高島 達四郎	1895-1976	鳥籠	昭和33年(1958)	油彩・麻布・額装	53×65.1	
14	林 武	1896-1975	雉の静物	昭和6年(1931)	油彩・麻布・額装	61.4×80.3	
15	渡辺 浩三	1897-1980	静物	昭和14年(1939)	油彩・麻布・額装	194×130	渡辺惇氏寄贈
16	安藤 信哉	1897-1983	静物	昭和54年(1979)	油彩・麻布・額装	117×117	安藤いそ氏寄贈
17	三岸 好太郎	1903-1934	花	昭和8年(1933)	油彩・麻布・額装	79×63	
18	三岸 節子	1905-1999	魚のいる静物	昭和38年(1963)	油彩・麻布・額装	100×80.3	
19	三橋 兄弟治	1911-1996	山うどの花のある静物	昭和28年(1953)	水彩・紙・額装	75.5×116.5	作者寄贈
20	金山 康喜	1926-1959	聖ヘレニウスの鍋	昭和25年(1950)	油彩・麻布・額装	72.7×90.9	
21	上田 薫	1928-	玉子にスプーン B	昭和62年(1987)	アクリル・麻布	181×227	
22	奥谷 博	1934-	桐の木の下	昭和40年(1965)	油彩・麻布・額装	158×194.2	作者寄贈

### 3 茨城県芸術祭美術展覧会

#### 《日本画・洋画・彫刻・工芸美術・デザイン》

- 会期 平成20年10月4日(土)～10月19日(日)
- 主催 茨城県／茨城県教育委員会／茨城文化団体連合／いばらき文化振興財団／茨城県教育財団／茨城新聞社／茨城県美術展覧会
- ポスター B2
- 入館者数 8,591人
- 観覧料 800円(高校生以下無料)
- 出品点数 日本画 178点  
洋画 376点  
彫刻 55点  
工芸美術 172点  
デザイン 57点  
合計 838点



### 4 第23回国民文化祭・いばらき2008 美術展(洋画・彫刻)

- 会期 平成20年11月1日(土)～11月9日(日)
- 主催 文化庁／茨城県／茨城県教育委員会／開催市町村／開催市町村教育委員会／第23回国民文化祭茨城県実行委員会／第23回国民文化祭市町村実行委員会／全国及び県内の文化関係団体等

- ポスター B2
- チラシ A4
- 入館者数 10,778人
- 観覧料 無料
- 出品点数 洋画 404点  
彫刻 52点  
合計 456点

#### ●関連事業

- 講演会 「茨城の作家と近代美術」  
講師 金子一夫(茨城大学教授)  
平成20年11月3日  
57人
- 作家制作実演 講師 洋画 山中宣明(画家)  
彫刻 福島康恵(彫刻家) 稲葉朗(彫刻家)  
平成20年11月3日  
630人
- ギャラリートーク 講師 洋画 磯崎俊光(画家)  
彫刻 一色邦彦(彫刻家)  
平成20年11月9日  
188人
- 実技講座 「千波湖畔でパステル画を楽しもう」  
講師 清水優(画家)  
平成20年10月5日  
31人
- ワークショップ 「ロータスシンフォニー～蓮花交響曲」  
講師 佐藤陽香(画家)  
平成20年10月18日、19日  
236人



美術展目録



イベントチラシ